

シ、此ノ二個ノ場合ニ於テ枝隊ハ嘗テ命セラレタル前進
 運動ヲ中止スルカ如キ原因アル歟決シテ之ナキナリ况
 ノヤ軍團ハ七月十一日ニ於テ「ハイチルスブリツク」ト「パ
 イツ」トノ線内ニ前進セント欲スルヲ以テ枝隊ノ此ノ前
 進運動ヲ爲スハ益必要ナルニ於テヲヤ、此ノ前進運動ハ
 啻ニ「パイツ」ヲ開放スルノミナラス尙ホ且ツ此ノ不便ノ
 地形内ニ來ル軍隊ヲ安全ナラシムルモノナリ、而シテ枝隊
 若シ不得已退却スルニ當テハ「パイツ」ノ方位ニ退路ヲ要
 ム可ラス「パイツ」ノ方位ニ退却セハ遂ニ救フヘカラサル
 不幸ヲ生セン故ニ退路ハ「ハイチルスブリツク」ニ通スル
 道路ヲ取ルヲ要ス然レモ「ハイチルスブリツク」ハ獨リ地

形ノ道便利ナルノミナラス高等司令部ノ本營ヲ設ケン
 トスルノ地ニシテ猶且ツ軍團ノ本兵力ヲ集合スル所ナ
 レハナリ如此キ退却ヲ實施センカ爲メ最初ヨリ「ハイチ
 ルスブリツク」ニ通スル道路ノ方位ニ右翼ヲ擴張シ「カル
 テンボルン」及ヒ「ドイローイツ」ニ對シテ攻撃スルハ策
 ノ得タルモノナルヘシ此ノ方策ヲ執行スルハ「ハ」ニ敵
 ノ橋頭陣地ヲ翼方ヨリ攻撃シ好結果ヲ得ルニ當テハ「セ
 ンケンデーベルン」ニ在ル敵ノ退却ヲ困難ナラシムルノ
 ミナラス「ナイセイ」河橋ヲ通過スル者ヲ側撃スルノ利ア
 リ又此際ニ縱隊ヲ以テ前進スルハ一縱隊ヲ以テスルヨ
 リモ有利ナリ何トナレハ敵ノ爲メニ右翼ヲ擊破セラル

カ如キ患ナキノミナラス「ハイチルスブリック」ニ通スル街道ヨリ敵ノ脅迫ヲ受クル「ナキヲ」以テナリ故ニ午後ニ定メタル目的ト相反スルモ右翼縦隊ハ左翼縦隊ヨリモ一層強大ナラシメサルヘカラス唯此強大ナル右翼縦隊ノ爲メニハ其取ルヘキ道路不便ナリ此縦隊ハ一筋ノ森林道路ヲ利用シ得ルノミ幸ニシテ此ノ森林道路ハ時季ノ善良ナルカ爲メ其用ニ堪ユ之ヲ要スルニ右翼縦隊ハ「コットブリセルホルスタット」ヲ發シテ「ヤエンシュル」ヲ經テ「鎭道」ノ南方ニ接スル森林中ノ道路ヲ通過シ「ゲルクウイツ」ヨリ「カルテシボルン」ニ前進シ左翼縦隊ハ「ダウエル」ヨリ直チニ「アツタル」ヲシユノ方ニ赴ムクヘシ

大行李ハ「ホル」ニ於テ集合ス可シ
 技隊司令官ハ思慮熟シ意圖定ルヤ集合シタル命令受領者ニ向テ次ノ命令ヲ下セリ

「パイツ」ニ於テ千八百、年七月十日晩第十時十五分

七月十一日ニ關スル枝隊命令

- 一 敵(大約一旅團)ハ其前隊ヲシテ「ナイセイ」河橋「グービン」ヘン「ヨリ」カルテンボルン「ドイローウイツ」及ヒ「センケン」デーベルン「ニ」亘ルノ線ヲ占領セシム

- 二 我カ軍團ハ明朝「ハイチルスブリック」ト「パイツ」

ノ線上ニ前進セントス

三 余ハ明朝敵ヲ「グーベン」附近ニ於テ攻撃セントス

四 軍 區分

右翼縱隊(余ノ指揮ヲ受ク)

前衛、B少佐

獵兵大隊

騎兵第一中隊

本隊(同シク行軍序列)

騎兵第三中隊ノ半中隊

歩兵第五十二聯隊第二大隊

砲兵第一大隊(砲兵第一中隊ヲ缺ク)

歩兵第五十二聯隊第一大隊

歩兵第五十二聯隊第四大隊

歩兵第五十二聯隊第三大隊

工兵中隊

師團橋架縱列

衛生枝隊

左翼縱隊、D大佐

歩兵第十二聯隊

騎兵第二中隊及ヒ第三中隊ノ半中隊

砲兵第一中隊

五 右翼縱隊ノ前衛ハ明朝第五時「ヤエンシユワル」
 「テ」ヲ發シテ「鐵道」ノ南方ニ接スル森林中ノ道路
 「ヲ」通過シ「ケルクウイツ」ヲ經テ「カルテンボル」
 「ニ」向ヒ進ム可シ而シテ其右翼ハ「ナイセー」河ノ右
 岸マテヲ搜索シ其左側面ニ於テハ左翼縱隊ト
 連絡ス可シ

六 右翼縱隊ノ本隊ハ明朝第四時十五分ニ「コット
 プーゼルホルスタット」ノ東方出口ヲ發シテ前
 衛ニ續行シ「パイツ」ニ在ル砲兵ノ步兵第五十二
 聯隊第二大隊ニ續キ行進ヲ起シタル后本隊ニ
 在ル他ノ步兵大隊ハ之レニ續行ス可シ

七 左翼縱隊ハ明朝第五時「タウエル」ヲ發シテ「アツ
 テルワシユ」ニ通スル道路ヲ經テ「ドイローウイ
 ツ」ニ向テ行進シ「ペーレンクラウ」ノ方位ニ通ス
 ル通路ヲ警戒シ且ツ右翼縱隊ト連絡ヲ維持ス
 ヘシ

八 「ヤエンシユワル」ニ在ル軍隊ノ大行李ハ龍騎
 兵若干ノ保護ヲ受ケテ明朝第五時ニ「ホル」ノ
 西南出口ニ向ヒ「タウエル」及ヒ「フライラック」ニ
 在ル軍隊ノ大行李ハ左翼縱隊ノ出發後「ラス」チ
 「ノス」ヲ通過シ「ヤエンシユワル」ヲ經テ「ホル」
 「ニ」向テ前進セヨ其他ノ大行李ハ明朝第五時十

五分、コットグレーゼルホルスタット」ノ東方出口ニ集合シ「パイツ」ニ在ル騎兵半中隊ヨリ分遣スル龍騎兵若干ノ保護ヲ受ケテ「ヤエ」ニシユワルテ「フ」經「ホル」ノ「ニ」出發スル準備ヲ爲スヘシ、各隊ノ大行李ハ「ホル」ノ「ニ」於テ密集シテ車陣ヲ作ルヘシ

九 兩縱隊ノ共同動作ヲシテ容易ナラシメンカ爲メ左翼縱隊ハ総テ緊要ナル新報ヲ余ニ報告シ且ツ騎兵ノ助力ニ依ツテ兩縱隊ハ殆ント彼是齊頭ニ行進スルコトヲ勉ムヘシ

十 余ハ右翼縱隊ノ本隊ニ於テ報告ヲ受ク

枝隊司令官 X少將

右ノ命令ハ規則ニヨラサル所寡カラサルヲ以テ聊カ其理由ヲ論セシ
野外要務令第二十二頁ニ曰ク軍隊區分ハ命令詞ト判然區別スルヲ良トス云々―此ノ原則ハ既ニ筆記セル命令ヲ受領セシムル場合ニ適スル者ニシテ即チ用紙ノ右半面ニ命令詞ヲ載セ左半面ニ軍隊區分ヲ記シタル者ナリ然レモ上文ノ命令ノ如キハ戰爭中常ニ見ルカ如ク口演ヲ筆記シタル者ナリ故ニ軍隊區分ヲ區別シテ示スハ利アラスシテ反ツテ害アリ夫ノ筆記シテ與ヘタル命令ニ在テハ軍隊區分ヲ區別スルモ命令ノ本文ヲ通讀スルニ

當リ共ニ之ヲ見ルヲ得然レモ口演命令ヲ筆記セシメ更ニ之ヲ上官或ハ下級者ニ向ヒ朗讀スル時ハ軍隊區分ヲ區別シアルカ爲メ其了解ヲ困難ナラシム可シ若シ命令ヲ讀ム者ニシテ最始ニ軍隊區分ヲ云フ乎聞者ハ如何ナル計画ノ存スルカヲ識ル能ハス若シ最後ニ之ヲ云フ乎命令ヲ朗讀スルニ當リ充分之ヲ了解スルヲ能ハス故ニ口演命令ヲ筆記スル場合ニ在テ如此ク軍隊區分ヲ區別スル時ハ多クハ命令ヲ兩回朗讀セサルヘカラサルニ至ルヘン余ハ又々軍隊區分ヲ區別シタルカ故ニ命令ヲ讀ム者軍隊區分ヲ忘却シ上官ハ場合ノ適否ニ關セス依然トシテ從來ノ軍隊區分ヲ恪守スヘキモノト信シタル場

合ニ遭遇シタルコトアリキ抑戰鬥中命令ノ授與ハ屢々夜間ニ之ヲ爲シ非常ニ疲勞セル場合ニ於テモ亦夕之ヲ行フ者ナルカ故ニ最モ了解シ易カラシメサル可ラス是ヲ以テ口演命令ヲ筆記セシムル時ハ軍隊區分ハ命令ノ本文ニ於テ之ヲ示スコト適當ナルヘシ、

軍隊區分ハ特別ノ編成ヲ爲セリ即チ右翼縱隊ノ前衛ハ比較的微弱ニシテ左翼縱隊ニハ工兵及ヒ衛生枝隊ノ一部ヲモ編入セス此ノ工兵及ヒ衛生枝隊ハ右翼縱隊ノ本隊ノ後尾ニ在リテ行進ス此ノ如キ特別ノ編成ヲ爲シタル所以ノモノハ七月十日ノ午后ニ於ケル枝隊ノ宿營法ハ行軍序列ニ從ヒ且ツ翌日再ヒ「ベ」レンクラウニ通ス

ル本街道ヲ前進スルモノトシテ之ヲ定メタルカ故ニ砲兵ヲ左翼ニ置キ當時ニ在テハ翌日右方ヨリ首力ヲ進ムルノ意アラサリシニ若シ右方ニ擴張シテ出發スル爲メ完全ナル縱隊ヲ編成セント欲セハ七月十一日ノ朝「バイ」ノ市街ニ進入スル車輛ノ混雜ヲ生シ軍隊ハ之レカ爲メニ衝突ヲ起シ爲メニ行進ヲ躊躇セシムルカ如キ故障ヲ生スルヲ慮リテナリ且ツ若シ不得已ノ場合ニ於テハ行軍中ニ於テ行軍序列ヲ變換シ得可ク縱令ハ大停止ノ時ニ於ケルカ如シ加之大行李ノ行進ハ軍隊ノ行進ヨリ一層ノ混雜ヲ生スルニ至ラン因是觀之行軍序列ニ不完全ナル所アルモ行進ヲシテ互ニ衝突セシムルカ如キ患

ナカラシムルヲ要ス蓋シ如此キ困難ハ屢々戰爭中生スルモノニシテ千八百七十年ノ役ニ於テ「メツツ」ヨリ「セダ」ニ向テ行ヒタル行進ノ例ニ徵シテ明カナリ
 其他甚タ早く出發ス―此時ニ當リ甚タ早キ出發ヲ軍隊ニ爲サシムルハ適當ノ事トス素ヨリ早朝ノ出發ハ軍隊ノ爲メ必要ナル夜間ノ睡眠ヲ害スルハ疑ナシト雖ヒ之ヲ必要トスルニ當テハ決シテ厭フヘカラス然ルヲ况ンヤ夜間ト雖ヒ出發スルコトアルニ於テヤ且ツ正午頃戰端ヲ開クハ我軍ノ爲メ利スル所多シ何トナレハ十月十一日敵ノ攻撃ヲ受ケントスル事實アルニ於テハ枝隊ハ「バイ」ノ不便ナル地ヲ去リテ「ハイ」チルスブリツクニ通

スル連絡ヲ確實ナラシムルヲ力メサルヘカラサレハ
ナリ枝隊ニシテ若シ「パイツ」ノ隘路ニ擊退セラル、如キ
事アラハ其不利太タ大ナリ、且ツ早朝ノ出發ハ大暑ヲ避
クルノ利アリ大暑ハ我カ最大ノ敵ニシテ兵卒ハ之カ爲
メニ數多ノ戰鬥ヲ行フタルト全一ノ疲勞ヲ覺ユルモノ
ナリ

命令第九ニ於テ特別ナル指示ヲ與ヘリ即チ左翼縱隊ハ
緊要ナル新報ヲ報告スヘシト蓋シ枝隊司令官ノ此ノ指
示ヲ爲シタルハ實ニ正當ナリト云フヘシ夫レ左翼縱隊
ノ司令官ハ獨立セルヲ以テ其行軍ヲ部署スルモ亦々其
專斷ニ在リ然ルニ其專斷ヲ放置セハ遂ニ兩縱隊ノ統一

ヲ欠クニ至ラン故ニ枝隊司令官ハ戰鬥ノ指揮ヲ一途
ニ出テシメシカ爲メ此指示ヲシタルナリ然リ其指揮ノ
一途ニ出ルハ敵ノ攻撃ヲ受ルニ當リ益必要ナレハナリ
命令受領者ハ此ノ命令ヲ受ケタル后即チ午后十一時少
シ前ニ飯還シ得キヲ以テ最后ノ上官此ノ命令ヲ落手
スルハ夜半ナルヘシ起床喇叭ハ部隊毎ニ甚々早ク吹カ
シノサルヘカラス枝隊司令官ハ之ヲ以テ其職務ヲ卒リ
タルモノトセシテ尙ホ次ノ電報ヲ高等司令部ニ發ス
ヘシ、

「パイツ」ニ於テ千八百、年七月十日晩第十

一時、

第三軍團ノ高等司令部宛

敵ハ晩ハ前隊ヲ「グーベン」ノ西方半獨里マテ前進セシメタリ、逮捕シタル敵兵ノ陳述ニ從レハ敵ハ晝間増加兵ヲ得タリ、即チ其歩兵旅團ノ司令部ハ「グーベ」ニ師團(第六)ノ司令部ハ「クロツセン」ニ在ルナラント余ハ明朝第四時三十分ニ「ドイローウイツ」及ヒ「カルテンボルン」ヲ發シ敵ヲ攻撃セントス不得已時ハ「ハイチルスブリツク」ニ退却スベシ

X 少將

夜間高等司令部ヨリ他ノ命令ナク又「ナイセイ」河ノ右岸ニ派遣シタル斥候ヨリ戦況ノ變化ヲ報シ來ラザル時ハ

枝隊ハ此方法ヲ以テ行軍ヲ起スモノトス

以上陳ヘタル問題中ニ在ル團隊ハ他ノ團隊ノ戦況ニ關シテ教示ヲ受ケス是レ素ヨリ彼是相待テ動作スル者ニシテ其狀恰モ一機關ニ屬スル者相集リテ運動スルカ如クナルハ論ヲ俟タサル所ナリト雖此問題中ニ在ル團隊ノ受ケタル任務ヲ解スルカ爲メニハ敢テ之ヲ熟考スルヲ要セサレハナリ、人或ハ小枝隊ノ防禦陣地占領ノ爲メ或ハ防禦陣地ノ攻撃ノ爲メ最モ高尙ナル戰略上ノ狀況ヲ陳述スルヲ往々ニシテ之レアリ此ノ高尙ナル戰術上ノ狀況枝隊司令官ノ動作ニ影響ヲ及ス片ハ小ナル枝隊

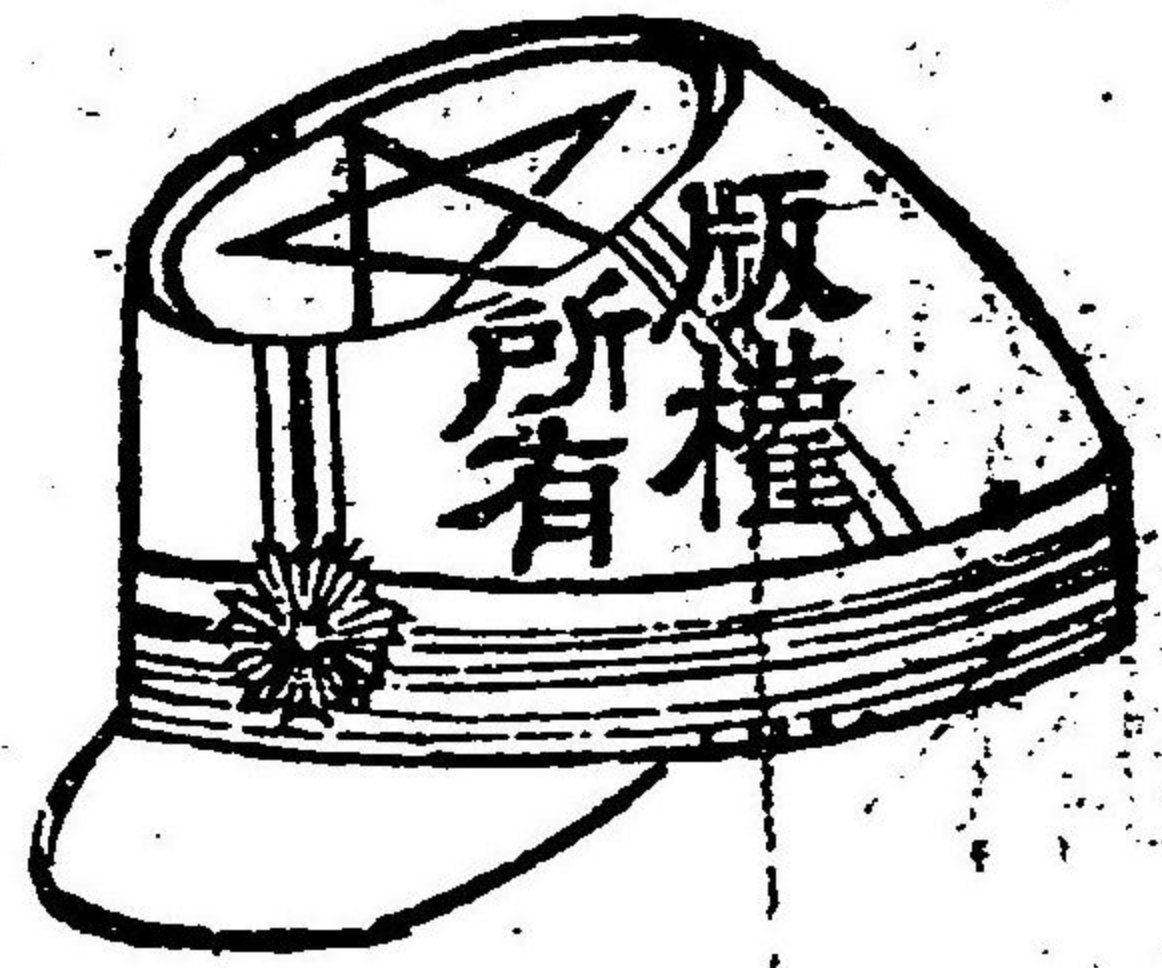
ト雖其任務ヲ了解シ一般ノ戰況ヲ顧ミ動作セサル可
 ラサルカ故ニ之ヲ授クルハ正當ナリトモ枝隊ノ兵員僅
 少ナルニ從ツテ高尙ナル戰略上ノ狀況ヲ陳ルハ益々困
 難トナルモノナリ而シテ小ナル任務ノ爲メニ此高尙ナル
 戰略上ノ狀況ヲ與フル時ハ目的トシタル任務ヲ答解ス
 ルニ益ナク只虛飾ニ過キサルカ或ハ答解者ハ任務授與
 者ノ意ニ反シ授與者ノ欲スル所ノモノヲ決行セスシテ
 反ツテ其反對ノ決行ヲ爲スコアリ即チ小枝隊ノ演習ニ
 於テ一般ノ戰況ニ從レハ審ニ戰鬪ヲ行フベカラサルノ
 ミナラス之ヲ行フヲ以テ不適當トナシタルニモ關ラス
 終日所々ニ戰鬪スルヲ見ルト屢之アリ充分ナル原因ナ

キニモ關セス此ノ如キ戰鬪ヲ行ヘル枝隊長アルハ之
 ヲ見テ誰カ驚カサルモノアラシヤ故ニ土地ニ於テスル
 如此キ所謂小演習ニ在テハ枝隊長ニ命スルニ貴官ハ此
 ノ村落及ヒ丘阜ヲ防禦セヨト云ヒ又敵ニハ貴官ハ之ヲ
 攻撃セヨト示サハ足レリ時トシテ一握ノ枯草ヲ警戒セ
 シカ爲メ或ハ之ヲ敵ヨリ奪取センカ爲メ歩兵一大隊ニ
 騎兵一中隊及砲兵一中隊ヲ以テ編成シタル兵カヲ以テ
 戰鬪ヲ開始スルヲ見ル

戰略術問答第一卷畢

明治廿六年五月二日印刷
同 年同月八日發行

定價金拾七錢



印刷兼發行者

滋賀縣平民

柴田源三郎

東京市麴町區麴町二丁目八番地

印刷所

兵

林

館

東京市麴町區麴町二丁目八番地

陸軍大學校御用印刷并發賣所

戶山學校

兵

林

館

東京市麴町區麴町二丁目八番地

7
17

戰
畧
術
問
答

第
二
卷

陸軍戶山學校用本



戰術問答

第貳卷

明治二十六年六月



寒冷ナル秋候ニシテ朝微ニ降霧アリシカ後晴天トナレ
リ

問題

九月二日ニ關スルA少將ノ目的及ヒ處置

説明及ヒ答解

九月二日南軍枝隊ハ全力ヲ盡シテ「グロース、ヘルメナウ」ニ駐留スル所屬軍團ヲ援助スヘキ任務ヲ有ス是カ爲メ枝隊ハ攻勢ニ移ラン歟枝隊ハ戦闘ニ敗レテ殆ント三獨里ノ退却ヲ爲シ目下尙優勢ナル敵ト相對シ攻勢ニ轉スルカ如キハ殆ント企ツ可ラサル事ニ屬ス若シ強テ之ヲ行ハントスルハ恐クハ枝隊ノ滅亡ヲ以テ終ラン然ラ

バ則チ速ニ所屬軍團ニ投合シテ以テ其威力ヲ増加スルノ策ヲ採ル可キ歟之カ爲メ「ワルテルスドルフ」ヨリ「グロース、ヘルメナウ」ニ通スル捷路ヲ採ルハ優勢ナル敵ノ運動區域内ニ在ルヲ以テ之ヲ通過スル頗ル困難ナリ又「ライハウ」及ヒ「ボナアリエン」ヨリ通スル道路ヲ採ルハ敵ノ爲メニ「ナアリエン」湖ニ投擠セラル、ノ危険アルノミナラス我軍團ニ會セスシテ却リテ敵ノ軍團ニ遇フコトナシトセス又「ウイルナウ」ヲ經「ナアリエン」湖ノ西岸ヲ沿行スルハ殆ント三獨里ノ距離アルヲ以テ正午ノ頃始メテ「グロース、ヘルメナウ」ニ到着シ既ニ業ニ時機ヲ逸スルニ至ルコトナシト云フ可ラス即チ此策可ナリトセス且

六
ツ此道路ヲ經テ所屬軍團ニ投合セント欲スルモハ敵ノ動
作ニ就キ推究セサル可ラサルモノアリ即チ敵ハ未タ我増
加兵ノ「モールンゲン」ニ到着シタルヲ確知セサルヲ以テ
「グロース、ヘルメナウ」ノ本戰彼ノ爲メ危殆ヲ感シ自ラ其本
軍ニ投合スルヲ要スルニ至ラサレハ九月二日ニ於テ依
然トシテ其追撃ヲ續行スルナラン素ヨリ彼レ其兵力ノ
一部ヲ以テ「ウイルナウ」ヲ經南軍枝隊ヲ追撃セシムルニ
當リ「グロース、ヘルメナウ」ノ本戰ニ於テ南軍團勝利ヲ得
ル「アラハ」彼レ甚タ不幸ナル狀況ニ陥ルヘシト雖モ勝
敗ノ事ハ南軍團假令増加兵ヲ得タルニモモヒヨ豫メ期ス
可ラス其他南軍團ハ既ニ九月一日ニ不幸ナル戰鬪ヲ爲

七
シ追撃シ來ル敵ノ目前ニ於テ大約二獨里半ノ困難ナル
退却ヲ爲シ今又「グロース、ヘルメナウ」ノ戰鬪ニシテ南軍
團ノ敗ニ歸シ北軍團ノ一部隊「ウイルナウ」ヲ經テ南軍枝
隊ヲ追撃シ來ルニ遇フキハ南軍團ハ其後方連絡線ヲ脅
迫セラル、ノ不幸ニ陥ルベシ故ニ南軍枝隊カ「ウイルナ
ウ」ヲ經テ退却スルモ亦適當ナラサルカ如シ
之ヲ要スルニ南軍枝隊ノ九月二日ニ於ケル任務ハ「ヘル
ツラグスワルデ」「バンチルス」及ヒ「ライヘンター」ノ線ニ
在ル敵ヲシテ「ウイルナウ」ニ向テ進入セシメス又「グロ
ース、ヘルメナウ」ニ趣ク能ハサル如ク之ヲ控制スルニ在
ル可シ故ニ枝隊ハ九月二日早朝「ライハウ」ニ進ミ敵兵若

八
シ「ウイルナウ」ノ方位ニ前進セシ歟之ヲ迎撃シ「グロース、
ヘルメナウ」ニ趣ク歟之ヲ追躡シ得ルヲ要ス而シテ此ノ第
二ノ動作ヲ適當ニ施行センカ爲メニハ騎兵聯隊ヲシテ
早天ヨリ敵ト密着ノ觸接ヲ保タシメサルヘカラス然レ
モ此ノ兩個ノ場合ニ處シテ宜ク得ル亦タ困難ナリト云
フ可シ何トナレハ不幸ナル戦闘后ハ「ライハウ」ニ於ケル
一日間ノ防禦ト雖モ既ニ業ニ難シトスル所又敵兵「グロ
ース、ヘルメナウ」ニ退却スルノ時機ヲ識別スルト頗ル困
難ナレバナリ即チ敵ハ不意ニ攻勢ヲ取り或ハ虚勢ヲ構
ヘ以テ我ヲ欺瞞シ其間ニ乘シテ徐ニ退却スルトアリ是
ヲ以テA少將ハ注意ヲ倍蕪シ正當ナル判決ヲ爲ス「ハ

特ニ茲ニ企望スル所ナリトス

九
枝隊司令官此ノ決定ヲ爲スヤ戦況ト我カ目的トヲ明示
シ且ツ副官ニ筆記セシムヘキ命令ヲ簡略ナラシムル爲
メ直ニ各佐官ヲ召集スルヲ良トス而シテ此時間ヲ利用シ
テ高等司令官ニ呈出ス可キ報告ヲ作り向キニ高等司令
部ヨリ派遣セラレタル將校ハ九月二日ノ朝早ク此ノ報
告ヲ「グロース、ヘルメナウ」ニ携行スルヲ要ス此ノ將校ニ
將校ノ指揮ニ屬スル龍騎兵若干ノ一枝隊ヲ附與スヘシ
蓋シ此枝隊ハ遞騎哨トナリテ「ギユルデンボーデン」ノ北
方出口ニ在テ本隊ト枝隊トノ連絡ヲ維持スルニ供ス
報告ハ次ノ如シ

一千八百、年九月一日晚第十一時

軍團司令部宛

重歩兵第一聯隊

獵兵第一大隊

龍騎兵第一聯隊

砲兵第一聯隊第一大隊(第三中隊ヲ缺ク)

右ノ團隊ハ我カ指揮ヲ受ケテ「ワルテルスドルフ」ニ在リ、敵ハ大約歩兵六大隊、騎兵四中隊及ヒ砲兵三中隊ヲ以テ余ヲ追躡シ來リ、「ヘルツ」ヲグスワルテ「パン」ヲルス「及ヒ」ライヘン「マイル」ヲ占領セリ余ハ九月二日此ノ敵ヲ控制シテ第一ニ「ハ」ウイルナウ「ノ」方向ヨリ

我カ軍團ノ後方連絡ヲ脅威スル能ハサラシメ第二ニ「ハ」グロース、ヘルメナウ「ノ」戰鬥ニ參與スル「能ハ」サラシムル「ヲ」勉ムル「ノ」目的「ヲ」有ス此カ爲メ余ハ騎兵聯隊ヲシテ敵ト密着セル觸接ヲ維持セシメ他ハ明早朝「ライハウ」ニ移轉シテ陣地ヲ占メ敵若シ攻撃シ來ラハ之ヲ扼止シ若シ又余ヲ放棄セハ余ハ之ヲ追フテ北方ニ前進セントス
龍騎兵聯隊ノ中尉ニ命スルニ「ギルデンボ」ニ於テ遞騎哨ヲ配置シ爾后高等司令部ト連絡ヲ維持スヘキ事ヲ以テセリ

A 少將

此ノ報告中注意スヘキモノアリ即チA少將ノ指揮下ニ如何ナル軍隊ノ現在スルヤヲ記スルニ是ナリ否ラスンハ高等司令部ハ尙軍團ノ他ノ部分他ノ場所ニ於テ敵ノ爲メニ蹂躪セラレタルモノ無キヤ知ルヲ能ハサレハナリ其他A少將ハ已レニ對スル敵ノ兵力ニ關シテ報告スルヲ緊要ナリ何トナレハ之ニヨリ高等司令部ハ「グロース、ヘルメナウ」ニ在ル敵ノ戰鬥力ヲ判斷シ得レハナリ」上ニ記載スル報告成ルヤ枝隊司令官ハ既ニ集合セル佐官等ニ向テ戰況ヲ説明シ且ツ之ニ口演ヲ以テ命令ヲ與ヘ終テ九月二日ノ作戰命令ヲ甚タ簡單ニ朗讀セシメタリ

「ワルテルスドルフ」ニ於テ一千八百、〇、〇年九月一日晚第十一時

九月二日ノ枝隊命令

- 一、龍騎兵聯隊ハ(前哨騎兵ヲ缺ク)午前第五時出發「ザングラウ」到リ「ヘルツ」ヲグスワルデ」ノ敵ト觸接ヲ保テ前哨騎兵中隊ハ「ワルテルスドルフ」ノ北方ニ於テ「バン」チルス」ニ在ル敵ト觸接ヲ保ツヘシ
- 二、獵兵大隊ハ午前第五時出發「ザングラウ」ヲ經テ「ライハウ」ヨリ「ヘルツ」ヲグスワルデ」ニ至ル街道上「ライハウ」ノ北方約一千五百米突ノ距離ニ進

ミテ陣地ヲ占メ若シ敵ノ攻撃ヲ受ケル時ハ「ラ
イハウ」ノ東方出口ノ方ニ退却スヘシ

三、本隊ハ午前第五時「ワルテルスドルフ」ノ東南出
口(即チ砲廠)ニ集合シ余ノ指揮ヲ受ケ「ベルグリ
ング」ヲ經テ「ライハウ」ノ方ニ行進スヘシ

四、龍騎兵聯隊ハ士官ノ指揮スル遞騎哨ヲ「ギユル
デンポ」ヲ「デ」ニ配備シ且ツ若干ノ傳令騎兵ヲ
本隊ニ出スヘシ

A 少將

此ノ筆記命令ニ就キ注意スヘキハ即チ各佐官ニ既ニ口
演命令ヲ與エタル「」是ナリ若シ此口演命令ナクシハ戰

況及ヒ枝隊司令官ノ目的ヲ示サ「ル」ヘカラサルナリ而
シ「ライハウ」ニ於テ陣地ヲ占領スル方法ノ如キハ枝隊司
令官地形ヲ實査シタル后甫メテ之ヲ示ス者トス、大行李
ニ關シテ記載スル「」ナキ所以ノモノハ是レ行李ハ枝隊
ノ許ニ在ラサルヲ以ナリ但シ此ノ大行李ハ「モールンゲ
」ノ地方ニ停止スルナラン

第八問題

九月一日ノ晩ニ於ケル北軍枝隊ノ戰況

北軍團ノ前衛ハ「アルト、ポリッテン」ニ停止シ「モールンゲ
」ニ通スル街道ヲ退却シタル敵ハ今尙ホ「グロース、ヘル
メナウ」ヲ占領ス而シテ軍團ノ本隊ハ「アルト、ポリッテン」ノ北

方及ヒ東北方ニ在ル村落ニ宿營シA少將ハ重歩兵第九聯隊(四大隊)獵兵第二大隊、龍騎兵第三聯隊及ヒ野戰砲兵第二聯隊第一大隊ヲ率ヒテ「ワルテルスドルフ」ニ退却シタル敵ノ一部隊(敵ノ部隊ハ歩兵二三大隊、騎兵二三中隊及ヒ砲兵二中隊ノ兵力ヲ有ス)ヲ究追シ九月一日ノ晩ニハ次ノ如ク宿營セリ

旅團本部

重歩兵聯隊(缺第四大隊)「ヘルツラクスワルデ」

龍騎兵聯隊(缺第四中隊)

重歩兵聯隊第四大隊「グロース、プレクスデン」「クライ

龍騎兵第四中隊「ン、プレクスデン」及ヒ「パンチルス」

獵兵大隊

砲兵大隊

「ライヘンタール」

敵ノ前哨ハ「ワルテルスドルフ」ノ北方ニ在リ

軍團司令官ハ九月二日ニ於ケル部署ヲ定メタリ即チ午
前第五時三十分出發遠ク敵ヲ追躡スルニ決シ其前哨及
ヒ本隊ヲシテ「グロース、ヘルメナウ」ニ向ヒ前進セシメA
少將ヲシテ「ワルテルスドルフ」ニ逃走シタル敵ノ一部隊
ヲ東南方「パッサルグ」河以外ヨリ驅逐シ「モールンゲン」ニ通
スル街道ヨリ分離セシメントス

問題

九月二日ニ關スルA少將ノ處置

説明及ヒ答解

北軍枝隊ハ特ニ前哨ヲ配置スルヲナク單ニ外衛兵及騎兵斥候ヲ以テ第一線タル村落即チ「ヘルツヲグスワルデ」及ヒ「パンチルス」ヲ警戒シタリ

夫レ敵ヲ擊退シ殆ント三獨里モ之ヲ追躡シタル時ニ當リ如此キ警戒法ヲ探ルハ實ニ至當ノ事ト謂フヘシ何トナレハ此時ニ在テハ殆ント敵ヨリ受クヘキ危險ヲ慮ルニ及ハサレハナリ此警戒法ハ戰況不利ナルモ天候ノ惡キ爲メ之ヲ採用スルヲアリ野外要務令第五十一頁ニ於テ此ノ場合ヲ記載ス「ワルテルスドルフ」ニ在ル敵ノ部隊ハ再ヒ其軍團ト連絡スルヲ勉ムルナラソ然ラハ則

チ敵ハ「ワルテルスドルフ」ヨリ「ウイルナウ」ニ向フカ或ハ其南方ニ向テ行進スルカ二者其一ヲ執ルヲ疑ナシ故ニ北軍枝隊ハ始メヨリ右翼即チ「ヘルツヲグスワルデ」ヨリ南方ニ前進セサル可ラス是レカ爲メ騎兵ヲシテ勉メテ早ク出發セシメ敵兵尙ホ「ワルテルスドルフ」ニ駐在シ在ルヤ或ハ既ニ該村ヲ出發シタルヤヲ搜索セシメ他ノ軍隊ハ騎兵ノ齎シ來ル報告ヲ俟チ「ワルテルスドルフ」或ハ「ライハウ」ノ方向ニ行進スル爲メ先ツ「ヘルツヲグスワルデ」ノ南方出口ニ集合シ在ルヲ良トス之カ爲メニ次ノ命令ヲ下セリ

「ヘルツヲグスワルデ」ニ於テ一千八百、、年

九月一日晚第九時

九月二日ニ關スル枝隊命令

- 一 敵ノ首カハ「モールンゲツ」ニ通スル街道「グロース、ヘルメナウ」ノ附近ニ在リ其一部隊ハ「ワルテルスドルフ」ノ方位ニ遁逃シタリ
- 二 軍團ハ明日續キテ「グロース、ヘルメナウ」ノ方ニ前進ス余ハ「ワルテルスドルフ」ニ在ル敵ノ部隊ヲ東西方「バツサルグ」河以外ニ驅逐セントス
- 三 龍騎兵聯隊ハ(第三中隊ノ半中隊ヲ缺ク)午前第五時出發「ヘルツ」ヲグスワルテ及ヒ「パンチルス」ヨリ「ワルテルスドルフ」ノ方ニ前進シ敵ノ西南

ニ前進セントスルヲ妨ク可シ

- 四 他ノ軍隊ハ総テ午前第五時三十分ニ「ヘルツ」ヲグスワルテ「ノ南方出口」ニ重歩兵聯隊第四大隊、獵兵、騎兵中隊ノ半部及砲兵ハ「ライハウ」ニ通スル道路ノ東方ニ重歩兵聯隊ノ他ノ三大隊ハ此ノ道路ノ西方ニ各集合ス可シ
- 五 大行李ハ午前六時「ライヘンタール」ノ方ニ通スル道路ノ傍ニテ「ヘルツ」ヲグスワルテ「ノ東北出口」ニ集合シ龍騎兵若干ノ掩護ヲ受ク可シ
- 六 余ハ「ヘルツ」ヲグスワルテ「南方」ニ於テ報告ヲ受ク

A 少將

此命令中ニ注意ス可キ者アリ即チ歩兵大隊、騎兵中隊或ハ砲兵中隊ヲ某團隊ニ附属セシムルコトアル時即チ本例ニ於テ騎兵第三中隊ノ半中隊ヲ本隊ニ附属シタルカ如キ附属スヘキ歩兵大隊、騎兵中隊等ノ隊號ハ其聯隊長或ハ大隊長ヨリ指示スヘキ者ナレドモ命令筆記ノ爲メ集リタル副官ヲシテ其隊號ヲ指示セシムルモ敢テ妨ケナカルヘシ本例ニ於テハ龍騎兵聯隊ノ聯隊副官ヲシテ騎兵第三中隊ノ半中隊ヲ撰拔セシメ之ヲ本隊ニ附属シタリ總テ大部隊ノ軍隊指揮官ニシテ諸隊ノ内執レテ休憩セシムルヲ以テ適當トスルヤヲ判別スルコト能ハサル時ハ其撰定ヲ部下ニ委任スベシ但シ特別ナル人物ヲ要スル場合ニシテ例令ハ困難ナル任務ニシテ特ニ適當ナル人物ヲ撰拔スルニアラサレハ之ヲ完フスル能ハサルカ如キ時ハ此限リニアラス

第九問題

九月二日午前第八時ニ於ケル北軍枝隊ノ戰況龍騎兵聯隊ハ「ザングラウ」ニ於テ敵ノ強力ナル騎兵ト衝突シ之ヲ東方ニ避ケタリシカ復「ザングラウ」ノ東方ニ在ル森林ヨリ歩兵射撃ヲ受ケ再ヒ東北ノ方ニ退却シ而シテ其後此騎兵ハ「ワルテルスドルフ」ニハ敵兵ナク其大縱隊ハ「ベルグリンゲン」ヨリ「ライハウ」ノ方ニ行進スルヲ目撃

シテ報告セリ

北軍枝隊ハ此ノ報告ニヨリ第六時頃ヘルツラクスワル
デヲ發シテライハウノ方ニ行進シ該村ノ北方ニ於テ敵
ノ歩兵大隊ト衝突シテ暫時ノ戦闘ヲ爲シ後敵ノ大隊ハ
「ライハウ」ノ方ニ退却セリ然レモ「ライハウ」ニ於テハ彼レ
眞面目ノ抵抗ヲ爲シ第八時頃始メテ之ヲ擊退スルヲ
得タリ、而シテ現時ノ戦況次ノ如シ

重歩兵聯隊ノ第四大隊及ヒ獵兵大隊ハ「ライバウ」ヲ攻撃
シテ之ヲ占領シ重歩兵聯隊ノ他ノ三大隊ハ「ライハウ」ノ
西方出口ニ迂回シ更ニ進ンテ「ウイルナウ」ニ達センコトヲ
企テ騎兵ハ「ライハウ」ノ西方標高四〇六ノ丘阜ニ進ミ砲

兵ハ「ライハウ」ノ北方一千五百米突ノ陣地ニ於テ前進ノ
爲メ前車ヲ繋ケ歩兵三乃至四大隊、騎兵一聯隊及ヒ砲兵
二中隊ノ兵力ヲ有スル敵軍ハ順序ヲ乱シテ「ウイルナウ」
ノ方ニ退却ス此ノ狀況中ニ重歩兵聯隊ノ許ニ在ル枝隊
司令官ハ左ノ命令ヲ受ケタリ

「ノイ、ボリツテン」ノ東方ニ於テ一千八百、
年九月二日午前第七時三十分

左側枝隊宛

敵ハ「グロース、ヘルメナウ」ニ於テ頑固ナル抵抗ヲ行
ハントスルモノ、如シ貴官ハ當面ノ敵ニ對スル軍隊
ヲ除キ其他ヲ率ヒテ我ヲ援助スル爲メ「ナアリエン」

水車ノ方ニ來レ殘留ノ枝隊ハ單ニ余ノ側面ヲ警戒
セシムヘシ

X 高等司令部

問題

A 少將ノ處置

説明及ヒ答解

此ノ如キ場合ニ於テハ迅速ニ決定スルヲ必要ナリ枝隊
司令官ハ命令到着シタル后左ノ如ク思考スルヲ得ヘシ、
歩兵三乃至四大隊騎兵一聯隊及ヒ砲兵二中隊ノ兵力ヲ
有スル敵ハ再ヒ我軍ノ敗ル所トナリ順序ヲ乱シテ退却
セリ今ヤ彼レ北軍枝隊ノ一部退却スルヲ目撃スト雖モ

攻戰ニ轉スルヲ能ハサルカ如シ而シテ當日ノ勝敗ハ實ニ
「グロース、ヘルメナウ」ノ本戰ニヨリテ決ス可シ故ニ歩兵
三大隊、騎兵三中隊及ヒ砲兵二中隊ハ之ヲ「グロース、ヘル
メナウ」ニ向ヒ出發セシメ、而シテ「ライハウ」ニ殘留スル部隊
ハ「グロース、ヘルメナウ」ノ戰鬪未タ決セサル間ハ敢テ敵
ヲ遠ク追躡セシメス茲ニ防戰ノ任務ヲ負ハシメサル可
ラサルモノト

枝隊司令官ハ此ノ思考ニ基キ次ノ如ク動作セリ
枝隊司令官ハ直ニ重歩兵聯隊ノ三大隊ヲ停止セシメ砲
兵司令官ハ砲兵中隊ヲ動かストナク自分ハ枝隊司令官
ノ許ニ來リ龍騎兵聯隊ノ内三中隊ハ勉メテ敵眼ヲ避ケ

重歩兵聯隊ノ許ニ來リ他ノ一中隊ハ敵ト對向シライハ
ウニ在ル二個大隊ノ大隊長中古參者(獵兵大隊長)ハ其二
大隊ヲライハウノ南方ニ在ル出口ニ前進セシメ自分ハ
枝隊司令官ノ許ニ來ルヘキ命令ヲ與ヘタリ
枝隊司令官ハ上ノ處置ヲ爲シタル后更ニ重歩兵聯隊長
ニ向ヒ次ノ如キ命令ヲ與ヘタリ

此ノ歩兵三大隊ハ軍團ニ加入セシ爲メ直ニ出發ボ
ナアリエンヲ經テナアリエン水車ノ方ニ行進ス可
シ貴官ハ一中隊ヲ前衛トシテ前方ニ進メヨ騎兵三
中隊砲兵二中隊モ共ニ行進ス可シ故ニ騎兵ハ到着
次第先頭ニ行進セシムヘク砲兵二中隊ハ先頭大隊

ニ跟隨セシムヘシ余ハ此ノ枝隊ヲ指揮シ行進中更
ニ告クル所アルヘシ

茲ニ於テ枝隊司令官ハ高等司令部ヨリ來レル傳令騎兵
ヲ返還シ之ニ告クルニ歩兵三大隊騎兵三中隊及ヒ砲兵
二中隊ハボナアリエンヲ經テナアリエン水車ノ方ニ行
進スルヲ報告スヘキヲ以テセリ

枝隊司令官ハ又到着シタル砲兵司令官ニ次ノ命令ヲ與
フ

貴官ハ其砲兵二中隊ヲシテ今出發セル先頭大隊ニ
續行セシメ其第三中隊ハライハウノ方ニ送り獵兵
大隊長ノ指揮ニ屬セシムヘシ而シテ貴官ハ余ニ全行

スヘシ、

騎兵到着スルヤ枝隊司令官ハ騎兵司令官ニ次ノ命令ヲ
與フ

余ハ我カ軍團ヲ援助センカ爲メ歩兵三大隊騎兵三
中隊及ヒ砲兵二中隊ヲ率ヒテ「ボナアリエン」ヲ經「ナ
アリエン」水車ノ方ニ行進ス貴官ハ直ニ騎兵二中隊
半ヲ引率シテ先頭ニ進ミ若シ「ナアリエン」水車ニ至
ル行進中危険ヲ生スルカ或ハ砲兵中隊ヲ前方ニ進
ムヘキ場合アラハ直ニ之ヲ報告セヨ騎兵半中隊ハ
本隊ト共ニ行進セシメ「ライハウ」ノ西方ニ殘置シタ
ル騎兵第四中隊ハ「ライハウ」ニ在ル獵兵大隊長ノ指

揮ニ屬セシメヨ余ハ部署ヲ終リタル后直ニ先頭貴
官ノ所ニ赴ムクヘシ

枝隊司令官ハ最后ニ到着スル獵兵大隊長ニ次ノ命令ヲ
與フ

「グロトス、ヘルメナウ」ニ於ケル我カ軍團ノ戦闘ハ劇
烈ナルカ如シ、余ハ貴官ヲシテ重歩兵聯隊第四大隊、
貴官ノ大隊騎兵一中隊及ヒ砲兵一中隊ト共ニ茲ニ
殘留セシム

余ハ軍團ヲ援助セン爲メ自カラ殘餘ノ軍隊ヲ引率
シテ「ボナアリエン」ヲ經「ナアリエン」水車ノ方ニ行進
ス、貴官ノ任務ハ只軍團ノ左側面ヲ警戒スルニ在リ、

貴官ハ遠ク敵ヲ追躡スヘカラス、是レ現ニ貴官ニ對向スル敵ノ兵力ハ貴官ノ兵力ニ倍スルノミナラス「グロース、ヘルメナウ」ニ於ケル戦闘ノ結果未タ知ル可ラサレハナリ、貴官ハ軍團ノ情況ヲ知ラシカ爲メ之レト連絡ヲ維持スヘシ余ハ大行李ヲ「クライン、プレグステン」マテ販還セシム、

枝隊司令官ハ「クライン、プレグステン」ニ退却スヘキ筆記命令ヲ大行李ニ傳達セシメタル后砲兵司令官ト共ニ「ナリエン」水車ノ方ニ行進シ途次尙ホ重歩兵聯隊長ニ示スニ簡單ナル戰況ヲ以テシ而シテ后戦闘ニ加入スヘキ方法ヲ定メシカ爲メ戰場ニ在ル騎兵聯隊ニ赴ムケリ

第十問題

九月二日午前第八時半頃「ライハウ」ニ残留スル

北軍枝隊ノ戰況

獵兵大隊長ハ再ヒ已レカ指揮下ノ軍隊ニ歸來スルヤ枝隊ノ狀況次ノ如クナルヲ目撃セリ、即チ重歩兵聯隊第四大隊ハ「ライハウ」ノ南端ニテ「ウイルナウ」ニ通スル道路ノ西方ニ、獵兵大隊ハ其左方即チ道路ノ東方ニ於テ停止シ騎兵中隊ハ敵ヲ追躡スト雖モ敵騎ノ優勢ナルカ爲メ不得已再ヒ退却シ「ライハウ」ノ西方標高四〇六ノ丘阜後ニ停止シテ前方ニ斥候ヲ派遣シ砲兵中隊ハ繫駕ノ儘「ライハウ」ノ東北出口ニテ「ヘルツラグスワルデ」ニ通スル道路

ニ停止スルヲ

敵ハ目下「ウイルナウ」ヲ占領シ其砲兵ハ該村ノ東方即チ「ツイベルスドルフ」ニ通スル道路ノ南方丘上ニ停止スルモノ、如シ「ライハウ」ヨリ「ウイルナウ」ニ至ルマテノ地ニハ敵兵ナシ

問題

北軍枝隊司令官ハ如何ナル處置ヲ爲ス可キ乎

説明及ヒ答解

枝隊司令官ハ上ノ状況ヲ考察セハ敵ハ「ウイルノウ」ニ據リ暫時間タリトモ北軍枝隊ノ前進ニ抵抗セント欲スルモノナルヲ看破シ得可シ此時ニ當リ枝隊司令官其指

揮下ニ在ル歩兵二大隊ヲ提ケ敵兵仮令二倍ノ兵カヲ有スルモ彼既ニ再度敗北シタル後ナルハ之ヲ「ウイルナウ」ヨリ驅逐スル難キニアラサルヘシト雖モ歩兵二大隊ハ之カ爲メニ擧ナカラサル損害ヲ蒙ムルハ數ノ免カレサル所且ツ此ノ如クスルモハ枝隊ハ軍團ヨリ甚シク離隔シ「グロースヘルメナウ」ニ於ケル戰鬪ノ經過ヲ知ルヲ能ハサルカ故ニ又A將官ハ枝隊ニ命スルニ專ラ本隊ノ左側面ヲ警戒スヘキヲ以テシタルカ故ニ枝隊司令官ハ既ニ占領シタル陣地ニ據テ以テ敵ヲ待チ彼レ攻撃シ來ル時ハ乃千之ヲ防禦スルヲ以テ良策トナシ枝隊ハ直ニ戰鬪準備ヲ整ヘ茲ニ露營スルヲニ決セリ

故ニ第四大隊ハ一中隊ヲ「ライハウ」ノ西方標高四〇六ノ丘阜ニ派遣シ強大ナル敵騎ノ動作ニ對シテ「ライハウ」ト「チアリエン」湖ノ中間ニ在ル土地ヲ警戒セシメタリ此ノ中隊ハ該丘阜ノ北方ニ露營シ丘阜上ニ下士哨ヲ配置シテ自ラ警戒シ又此中隊ニ附スルニ傳令騎兵若干ヲ以テス而シテ第四大隊ノ殘餘三中隊及ヒ獵兵二中隊ハ「ライハウ」ノ南端ニ於テ互ニ相並列シ其防禦スヘキ陣地ニ露營シ其警戒ハ前方ニ出セル下士哨ニ依レリ他ノ獵兵二中隊騎兵中隊及ヒ砲兵中隊ハ「ライハウ」ノ東南ニテ掩蔽シタル地ヲ撰ヒ茲ニ露營ヲ布設セリ是レ敵兵來攻スルニ當リ速カニ脅迫セラレタル地點ニ展開センカ爲メナリ

此ノ露營ハ外衛兵ヲ以テ警戒シ騎兵ハ「ウイルナウ」及ヒ「ソイベル」スドルフノ方ニ在ル山林ニ斥候ヲ派遣シ其他總テ露營スル諸隊ハ常ニ充分ナル戰鬪準備ヲ爲シ即チ歩兵ハ背囊ヲ脱シ得ヘシト雖モ騎兵ハ必ス馬匹ニ裝鞍シ且ツ裝勒シ砲兵ハ積載シ繫駕シ置カサルヘカラス又「グロースヘルメナウ」ノ戰況如何ヲ知ラシカ爲メ一名ノ將校ニ傳令騎兵若干ヲ授ケ之ヲ高等司令部ニ派遣シ置カサル可ラス此將校ハ「ボナアリエン」ニ在ル遞騎哨ニ依ツテ枝隊司令官トノ連絡ヲ維持ス枝隊司令官ハ適當ニ其部署ヲ定メタル后「ライハウ」ノ東端ニ在ル露營内ニ赴ケリ

第十一問題

九月二日午后第一時「ライハウ」ニ在ル北軍枝隊ノ戦况、

敵ハ「ウイルナウ」ニ停止シテ屢々北軍枝隊ノ正面ニ強大ナル騎兵部隊ヲ出シ北軍枝隊ハ歩兵射撃ヲ以テ之ヲ撃退シ又敵ノ騎兵數中隊ハ「グイベルスドルフ」ノ西方ニ在ル森林ヲ周リテ北軍枝隊ノ左側面ヲ脅威シ之カ爲メ北軍枝隊ハ獵兵一中隊ヲ「ライハウ」ノ東南端ヨリ「エクフエルド」ノ方ニ進メテ此騎兵ヲ撃退シ此ノ中隊ハ「エックフェルト」ニ於テ停止セリ枝隊司令官ハ午后第一時高等司令部ニ在ル枝隊付騎兵將校ヨリ次ノ報告ヲ得タリ、

「ナアリエン」水車ニ於テ一千八百、、年九月

二日正午十二時三十分

左側枝隊司令官宛

高等司令官ノ命ニヨリ報告ス我軍ハ「グロース、ヘルメナウ」ヲ奪略シ敵ハ「モートルンゲン」ノ方ニ退却ス

高等司令部ニ派遣セラレタル龍騎兵第三聯隊ノ少尉

問題

北軍枝隊司令官ハ如何ナル處置ヲ爲スヘキ乎

説明及ヒ答解

北軍枝隊司令官ノ「ライハウ」ニ停止セル主要ナル原因ハ本隊ノ戦闘勝算ナキニモ關セス遠ク本隊ヲ離ル、ハ策ノ得タル者ニアラサルヘク即チ北軍枝隊ニシテ續テ敵ヲ追躡シ「グロースヘルメナウ」ニ於ケル戦闘不幸ノ結果ヲ得タランニハ云フヘカラサル困難ニ陥ルヘキト又當面ノ敵情ヲ推察スルニ「ウイルナウ」ニ大約五時間ノ休憩ヲ爲シタルヲ以テ再ヒ隊伍ヲ整ヘ兵力ヲ集結シ其ノ陣地ヲ堅固ニシ即チ其抵抗カヲ増加シタルナラント云フニ在リ今ヤ「グロースヘルメナウ」ニ於ケル戦闘ノ敵ノ敗ニ歸シタランニハ彼之ヲ聞キ自ラ防禦シ能ハサルヲ覺リ退却ニ決シタルヤモ料ル可ラス果シテ然ラハ北軍枝

隊ニシテ「ゾイベルスドルフ」森ノ西端及ヒ「トムラツケン」森ニ進入センカ敵ノ退却ニ大ナル不便ヲ與ルヤ必セリ於是乎北軍枝隊司令官ハ再ヒ攻勢ニ轉スルヲニ決心シ之カ爲大隊長及ヒ砲兵中隊長ヲ召集シテ將サニ攻撃命令北與ヘントス而シテ其到着シ來ル迄ノ時間ヲ利用シテ高等司令部ニ呈出スル報告ヲ作り且ツ高司令部ニ派駐シ在ル龍騎兵將校ニ與フヘキ命令ヲ作り少尉ノ傳令騎兵ハ此ノ報告及ヒ命令ヲ携帶シ復皈セリ
ヲ軍技隊司令官ヨリ高等司令部ヘ呈出スル報告ハ左ノ如シ

「ライハウ」ノ露營ニ於テ一千八百、年九月

二日午后第一時十分

軍團高等司令部宛

余ハ重歩兵第九聯隊ノ第四大隊、獵兵第三大隊、龍騎兵第三聯隊ノ一中隊及ヒ砲兵第二聯隊ノ一中隊ヲ率ヒテ「ライハウ」ニ在リ敵ハ「ウイルナウ」ヲ占領セリ余ハ今之ヲ攻撃センカ爲メ「ウイルナウ」ニ向テ前進ス

獵兵第二大隊長左側枝隊司令官A少佐

又X少尉ニ與フル命令左ノ如シ

「ライハウ」ノ露營ニ於テ一千八百、年九月

二日午后第一時十五分

高等司令部ニ在ル龍騎兵第三聯隊附Z少尉宛

余ハ今ヨリ敵ヲ攻撃センカ爲メ「ウイルナウ」ニ向ヒ前進ス貴官ハ依然高等司令部ニ停リ「ボナアリエ」ニ遞騎哨ヲ配置セヨ

左側枝隊司令官A少佐

該枝隊司令官ハ此ノ報告及ヒ命令ヲ作りタル後曩ニ召集シタル司令官等皆ナ到着スルヲ見其目前ニ於テ最初ニZ少尉ヨリ達シタル報告次ニ己ノ作りタル報告及ヒ命令ヲ朗讀シ後此等ノ司令官ト共ニ最近傍ニ在ル丘上ニ騎行シ次ノ攻撃命令ヲ日演セリ

吾人ハ今敵ヲ攻撃センカ爲メ「ウイルナウ」ニ向ヒ前

進セントス

A 大尉ヨ(獵兵大隊ノ古參大尉)貴官ハ勉メテ敵眼ヲ避ケ「モクフェルド」ニ獵兵大隊ヲ集合シ「ゾイベルスドルフ」及ヒ「トムラツケル」森ノ西端ヲ經テ「ウイルナウ」ニ前進セヨ、而シテ貴官ハ大抵「ウイルナウ」ノ東方ニ在ル敵ノ砲兵ヲ擊退スルヲ得ルナラン、若シ爲シ得レハ敵ノ右側面及ヒ背面ニ向ツテ動作スルハ貴官ノ任務トス殊ニ彼退却スルニ於テハ此動作ヲ最モ緊要ナリトス

B 大尉ヨ(砲兵中隊長)貴官ハ此ノ近傍ニ於テ一ノ陣地ヲ索メ「ウイルナウ」ノ攻撃ヲ準備シ且ツ之ヲ援助

セヨ、余ハ更ニ陣地ヲ占ムヘキ時刻ヲ示スヘシ、此時刻ハ獵兵大隊カ「トムラツク」ノ高地ニ在ル農圃ニ達シタル時ナル可シ、貴官ハ勉メテ掩蔽シテ陣地ニ進入スルヲ必要ナリ、何トナレハ敵ハ砲兵ニ中隊ヲ有スレハナリ又貴官ハ砲車ノ間隔ヲ大ニシ且ツ射撃ノ方法ヲ以テ敵ヲシテ我カ砲車ハ甚タ數多ナリト誤認セシムルヲ努メヨ、

C 少佐ヨ(第四大隊長)貴官ハ我カ砲兵ノ射撃ヲ開始スルヤ直ニ其大隊ヲ率ヒ勉メテ廣濶ナル正面ヲ以テ「ウイルナウ」ニ向ヒ前進セヨ、且ツ貴官ハ砲兵中隊ヲ掩護シ其右方ニ動作セヨ

D騎兵大尉ヨ、貴官ハ兩大隊ニ若干ノ傳令騎兵ヲ派遣シ御身ハ騎兵中隊ト共ニ露營ニ停止セヨ
余ハ砲兵中隊ニ在ルヘシ、
獵兵大隊ハ直ニ行進ヲ起セ

第十二問題

戰況(參謀圖「フイデル」河邊ノ「フランクフルト」部
參觀)

西軍枝隊ハ數日來「ベタルスハーゲン」及ヒ其西方「フランクフルト」ヲ去ル大約二乃至三獨里ニ於テ宿營ヲ爲セシガ十月三十日ノ晚地方總督ヨリ命アリ曰ク十月三十一日「フランクフルト」ノ方ニ前進シ十一月一日ニハ「ノイエンドルフ」ノ東方二獨里ニ停止スル敵ノ部隊ヲ搜索シ且ツ之ヲ擊退ス可シト

軍隊

- 步兵重步兵第八聯隊(四大隊)
- 第九步兵第四十八聯隊(三大隊)
- 旅團獵兵第三大隊
- 龍騎兵第十二聯隊
- 野戰砲兵第十八聯隊第一大隊
- 野戰工兵第三大隊第一中隊
- 師團橋架縱列
- 衛生第一枝隊

枝隊司令官ハ十月三十一日獨立騎兵ヲ以テ敵ト觸接ヲ
索メシメ而シテ前衛ヲ「ブーデル河ノ右岸ニ派遣シ本隊ヲ
以テ「フランクフルト」ヲ占領センコトヲ企テリ故ニ枝隊司
令官ハ十月三十一日ノ朝次ノ如キ軍隊區分ヲ以テ「ペー
テルスハーゲン」ヨリ「フランクフルト」ニ通スル本街道ヲ
前進シタリ

獨立騎兵、A 大佐、

龍騎兵聯隊(第四中隊ノ半中隊ヲ缺ク)

前衛、B 大佐

歩兵第四十八聯隊

龍騎兵第四中隊ノ半中隊(本隊ニ派遣シタル傳令騎

兵若干ヲ缺ク)

砲兵第一中隊

工兵中隊

師團架橋縱列

衛生枝隊

本隊、C 大佐

重歩兵第八聯隊

獵兵第三大隊

砲兵大隊(第一中隊ヲ缺ク)

前衛首部ニ在テ行進スル枝隊司令官正午十二時「フラン
クフルト」ノ「レブーゼルホルスタット」ニ到着スルヤ「ク

子ルスドルフニ置キタル遞騎哨ヨリ次ノ報告ヲ受ケタ
リ

● 「レツペン」ノ「ホルスタット」ヨリ「ノイエンドルフ」
ニ至ル中途ニ於テ一千八百、年十月三十
一日午前第十時四十分

歩兵第九旅團長宛

第一報告

各兵種混成ノ敵ノ枝隊ハ(但シ其兵力ハ未タ確知セ
ス)ノイエンドルフニ向テ行進中ナリ其歩兵ノ尖兵
ハ午前第十時三十分「レツペン」ノ「ホルスタット」ヲ通過
シタリ余ハ尙ホ觀察ニ従事ス

獨立騎兵司令官A大佐

天候

此日天晴レテ寒氣烈シク列氏ノ寒暖計零度ヲ示セ
リ

問題

枝隊司令官ノ部署

説明及ヒ答解

戦況ヲ述フルニ當リ西軍枝隊ハ數日以來「ペーテルスハ
ーゲン」及ヒ其西方ニ於テ宿營ヲ爲シタルヲ以テセリ
故ニ此軍隊ハ數日間ノ休憩ヲ行ヒ其志氣ヲ鼓舞作興シ
タルヤ疑ナシ而シテ前進ノ命令ハ地方總督之ヲ出セシヲ

以テ之ヲ受ケタル所ノ西軍枝隊ハ其自國ニ在ルヤ自ラ
明ナリ

軍隊區分ニ於テ全歩兵ノ三分ノ一ヨリモ多キ兵力(八分
ノ三)ヲ以テ前衛ヲ編成シタルヲ奇ナルカ如シト雖モ十
月三十一日敵ニ衝突スルカ如キヲアラハ則チ此強力ナ
ル前衛ヲ要スルヤ必セリ何トナレハ我カ本隊ノ「ヲ」テ
ル河通過ヲ容易ナラシメンカ爲メニハ前衛ノ兵力強大
ナルニ非ラサレハ能ハサルヲ以テナリ若シ十月三十一
日敵ト衝突スル「ヲ」ナシトスルモハ前衛ノ如此編成ハ敢
テ緊要ナラサル如シト雖モ歩兵第四十八聯隊、工兵中隊
及ヒ衛生枝隊ヲ分割スルノ理由モ亦タ之ナカラシ又一

方ヨリ論スレハ前衛ノ兵力ヲ強大ナラシムルモハ密集
シテ行進スル本隊ノ縱長ヲ短縮シ縱長短縮スルニ從ヒ
益行進ヲ容易ナラシム可キナリ

枝隊司令官ガ殊ニ本隊司令官ヲ命シタル理由ハ自分ハ
前衛ト共ニ行進シ以テ勉メテ早ク獨立騎兵ノ報告ヲ受
ケ速カニ十月三十一日ニ於ケル處置ヲ決定セシカ爲ナ
リ

獨立騎兵聯隊ガ午前第十時四十分ニ發シタル報告ノ正
午ニ於テ「レ」ブ「ゼ」ルホルスタットニ在ル前衛ニ達シタ
ルヲ以テ之ヲ見レハ獨立騎兵隊ハ甚タ早ク前衛及ヒ本
隊ハ甚タ晚ク出發シタルヲ明カナリ蓋シ其理由ハ敵兵

前進シ來ル場合ニ於テハ其行進方向ヲ知リ然ル後前衛
 及ヒ本隊ノ宿營ヲ部署スルニ必要ニシテ否ラサレハ既
 ニ宿營ニ就キタル諸隊ニ警報ヲ發シ再ヒ之ヲ集合シ更
 ニ他ノ部署ヲ行ハサルヘカラサルノ不幸ヲ生スルナ
 シトセザレハナリ枝隊司令官ハ獨立騎兵隊長ノ報告ヲ
 得ルヤ參謀圖及ヒ兩脚器ヲ用ヒテ左ノ計算ヲ爲スナラ
 敵軍ハ昨夜ノイェンドルフノ東方二獨里(即チ「フランク
 フルト」ヲ去ル四獨里)ノ處ニ於テ宿伯シ彼ノ若シ前進シ
 「フランクフルト」ニ向フモノトセハ目下(正午十二時)其
 歩兵尖兵ハ「ノイェンドルフ」ノ西方ニ在ル鐵道ト本街道

トノ交叉點ノ西方ニアラナラシム而シテ「クローチルスドルフ」
 ニ向ヒ捷路ヲ取リテ進ムハ午後一時三十分頃ニハ該
 村ニ達シ二時三十分頃ニハ「フランクフルト」ニ到着スル
 ヲ得ン又西軍枝隊モ行進ヲ續行セハ其前衛ノ先頭ハ一
 時三十分頃ニ「クローチルスドルフ」ニ達スルヲ得可シ故ニ
 該村ニ於テ敵ト衝突スルナラン而シテ本隊ノ後尾ハ此
 時恰モ「ライデル」河橋ヲ渡過シ終ル可キ預算ナリ
 敵兵十月三十一日ノ行軍ハ「ライデル」河邊ノ「フランクフ
 ルト」ヲ其目標トシテ定メタルヤ否ヤハ之ヲ判定スルコ
 能ハスト雖モ亦タ西軍枝隊ハ嘗テ「フランクフルト」ニ宿
 營セントスル意アリトスルモ枝隊ノ爲メニ之ヲ謀ルニ

十月三十一日ニハ勉メテ遠ク「ライデル」河ノ右岸ニ前進スルヲ以テ利アリトス是レ該枝隊ハ十一月一日ニ「ライデル」河ナル隘路ノ附近ニ於テ戦闘スル「ナカラ」爲ナリ特ニ全ク敵ノ兵力ヲ知ラサル時ハ隘路附近ニ於テ戦闘スル「ハ宜シク」之ヲ避ケ進テ隘路ヲ越ヘ勉メテ遠ク出ルカ或ハ退テ隘路ノ後方ニ入ラサル可カラサレハナリ然ルニ西軍枝隊ノ任務ハ素ヨリ攻戦ヲ爲スニ在ルヲ以テ上ニ示シタルカ如キ狀況ニ於テハ宜シク前進シテ「クイチル」スドルフニ達セサルヘカラサルヤ明カナリ枝隊司令官ハ如此決定シタル后次ノ部署ヲ定メ且ツ獨立騎兵司令官ニ與フル爲メ次ノ命令ヲ作レリ、

「フランクフルド」ノ「レブ」ゼルホルスタットニ

於テ

一千八百、年十月三十一日正午十二時十分

獨立騎兵司令官宛

枝隊ハ舉ケテ「クイチル」ストルフニ行進ス貴官ハ勉

メテ敵ヲ扼止スルヲ勉メヨ

余ハ「エウドンス」山ニ向テ騎行ス

歩兵第九旅團長 X 少將

次ニ X 少將ハ前衛司令官ニ A 大佐ノ報告及ヒ已ノ目的ヲ示シ更ニ其前衛ヲ率ヒテ「クイチル」スドルフニ通スル

本道ヲ前進シ「ダムホルスタット」ヲ通過シタル後歩兵一
大隊ヲ左側枝隊トシテ丘阜ノ麓ニ沿フテ小水車ノ方ニ
通スル道路上ニ派遣スヘキヲ命セリ
次ニX少將ハ傳令騎兵ヲシテ本隊ノ司令官ニ次ノ命令
ヲ與ヘシメタリ曰ク

敵ハ「フランクフルト」ノ方ニ行進スルノ報告ヲ受ケ
タリ本隊ハ尙ホ行進ヲ續行シ「フランクフルト」ヲ經
テ「クイーテルスドルフ」ニ通スル本街道ヲ行進スル前
衛ニ跟隨シ、大行李ハ「フランクフルト」ノ「レブーゼル」
ホルスタットニ停止セシメヨ

更ニX少將ハ前衛司令官ニ命スルニ師團架橋縱列ヲ「ダ
ムホルスタット」ニ殘置スヘキヲ以テシ次テ前衛騎兵ト
共ニ速歩ヲ取リテ「ラウドンス」山ノ方ニ騎行セリ

第十三門題

十月三十一日午後第四時四十五分ニ於ケル西

軍枝隊ノ戰況(第四掌圖參觀)

西軍ノ枝隊ハ午後第一時三十分頃「クイーテルスドルフ」ニ
於テ敵ト會戰セリ蓋シ此ノ戰鬪ノ起ル所以ハ「クイーテル
スドルフ」ヲ占領セントスルノ目的ヨリ出テタルモノナ
リ此戰鬪ヤ午後第四時ニ至ルモ勝敗未タ決セサリシガ
敵ハ俄カニ戰鬪ヲ中止シテ「レツペンシエ」ノ森林ノ西端
ニ退却シタリ、西軍枝隊ハ之ヲ追躡シ午後第四時四十五

分ニハ第四掌圖ニ示スガ如ク諸軍隊ヲ配置シタリ即チ左ノ如シ

歩兵第四十八聯隊ハ「ミユル」山及ヒ其南方ニ重歩兵第八聯隊第一第二大隊ハ「クイテルスドルフ」ノ東方ニ在ル練瓦製造所ノ丘阜ニ、第三大隊ハ此村ノ出口ニ第四大隊ハ「クイテルスドルフ」ノ東南ニ在ル森林ノ東端ニ、
獵兵大隊ハ「クイテルスドルフ」ノ西方出口ニ龍騎兵聯隊ハ「ミユル」山ノ西方ニ
砲兵ハ「クイテルスドルフ」ノ東南ニ在ル砲兵陣地ニ、
工兵中隊及ヒ衛生枝隊ハ「スピッツ」山ノ西方ニ在ル

農厦ニ師團架橋縦列ハ「ダムホルスタット」ニ大行季ハ「フランクフルト」ノ「レプーゼルホルスタット」ニ、
敵ハ歩兵ヲ以テ「レツペンシエ」森林ノ西端ヲ占領シ而シテ其ノ砲兵ハ本街道ノ南方ニ在リ
西軍枝隊ノ歩兵ハ所々ヨリ森林ニ向ツテ前進スト雖モ敵ノ射撃ノ爲メニ撃退セラレタリ敵ハ薄暮ニ及ンテ射撃ヲ中止シタリト雖モ尙ホ依然トシテ其位置ヲ占領ス
彼我ノ軍隊ハ大ニ劇戰セリ西軍枝隊ハ爲メニ大約千五百名ノ兵卒ヲ失ヘリ敵ハ歩兵六乃至八大隊騎兵數中隊及ヒ砲兵三中隊ヲ展開シタリ

問題

枝隊司令官ノ爾後ノ部署

説明及ヒ答解

敵ハ二時三十分間ノ劇戰ヲ爲シ後退却運動ヲ始メタリト雖_レ「レツベンシエ」森林ノ西端ニ於テ再ヒ陣地ヲ占メ西軍枝隊ノ前進ヲ拒絕シタリ而シテ薄暮ニ及ンテ徐々ニ射撃ヲ止ムト雖_レ「レ」彼我軍隊ハ互ニ相對峙シテ停止ス―西軍枝隊ハ敵ト戰フテ勝利ヲ得タリ然レ_レ未タ全勝ヲ得タリト云フ可ラス何トナレハ敵ハ西軍枝隊ノ森林ニ向ツテ行フタル最後ノ前進ヲ抑ヘ得タレハナリ然レ_レ亦タ亦タ敵ハ二時三十分間ノ劇戰後「ク」子ルスドルフヲ退却シタル者ナレハ其占領スル「ラツベンシエ」森林ノ縁

端ヲ永ク固守シテ翌朝ニ至ルモ依然動カスヲ防禦シ或ハ更ニ功勢ニ轉スルカ如キ「ナ」ナル可シ是レ森林ハ南方ニ連續シ前哨位地ニスラ適セサレバナリ故ニ敵カ森林ノ西端ヲ占領セル所以ハ其背後ニ於テ軍隊ヲ集合シ隊伍ヲ整頓シ退却行進ヲ行ハントスルニ在ルヤ明カナリ又一方ヨリ之ヲ考フルニ敵ハ我枝隊「ミユル」山及練瓦製造所ヲ撤去スル時ハ之レニ乘シテ再ヒ前進スル能ハサル如キ敗績ニ陥リタルモノニアラサルベシ故ニ西軍枝隊ハ「グ」子ルスドルフヲ占領シテ以テ戰場ヲ制御スルニアラサレハ西軍枝隊ノ勝利ヲ全フスルヲ能ハサルナリ因是觀之西軍枝隊ハ第一線ニ在ル軍隊ヲ其地ニ駐

メテ敵兵向來ノ動作ヲ觀察セシメ他ノ諸隊ハ宿營準備
ヲ行ハシムルヲ以テ良策トス可シ此宿營ノ爲メニハ所
々ニ散在スル農履ヲ用ユルノ外「ク」チルスドルフニ入
ルヲ得可シ縱令ヒ此等ノ農履ハ全ク軍隊ヲ宿營セシム
ルニ足ラスト雖モ一時數多ノ負傷者ヲシテ宿營セシム
ルニハ充分ナルヘシ

枝隊司令官ハ此ノ如ク決定シテ軍隊ニ其部署ヲ口演ス
ル「下」ノ如シ即チ歩兵第四十八聯隊ハ丘阜ニ停止スル
二大隊ヲ以テ「ミユル」山ヲ占領セシメ敵ノ不意ノ攻撃ヲ
防禦シ其第三大隊ハ村落ノ北方出口ニ退却セシムヘシ
重歩兵第八聯隊ハ第一第二大隊ヲ以テ練瓦製造所附近

ノ地ヲ占領セシメ第四大隊ヲ以テ「ク」チルスドルフノ
東南ニ在ル小森林ノ東端ヲ占領セシム可シ重歩兵聯隊
第三大隊及ヒ獵兵大隊ハ「ク」チルスドルフノ東方及西
方出口ニ於テ停止スヘシ龍騎兵聯隊ハ爾後取ルヘキ前
哨配置ヲ顧慮シ其一小隊ヲ練瓦製造所ニ停止スル重歩
兵聯隊ノ二大隊ニ又其一小隊ヲ該聯隊ノ第四大隊ニ派
遣スヘシ此ノ騎兵枝隊ノ任務ハ斥候トナリ敵ノ動作ヲ
監察セシムルニ在リ龍騎兵聯隊ノ他ノ三中隊半ハ「ク」
チルスドルフノ北端マテ退却スヘシ砲兵ハ暗黒ニ至ル
マテ其位置ニ止リ更ニ命ヲ待ツ可シ重歩兵第八聯隊ノ
二大隊歩兵第四十八聯隊獵兵大隊龍騎兵三中隊半及ヒ

砲兵大隊ノ舍營ハ設官隊ヲシテ「クローチルスドルフ」ニ準備セシム可シ即チ其舍營地ハ歩兵第四十八聯隊及ヒ龍騎兵三中隊半ハ「クローチルスドルフ」ノ東北部重歩兵第八聯騎隊ノ二大隊獵兵及ヒ砲兵ハ村落ノ西南部トス村落ノ西南出口ニテ「フランクフルト」ニ通ル本街道ノ近傍ニ在ル農厦ハ負傷者ノ爲メニ之ヲ存セサルヘカラス又工兵中隊ハ小水車ニ於テ宿營シ「スピツ」山近傍ノ農厦ニ繃帶所ヲ設ケタル衛生枝隊ハ該所ニ在ル負傷者ヲ上ニ示シタル村落ヲ送ルヘシ

枝隊司令官ハ此等ノ部定ヲ定ムルニ自ラ之ヲ爲シ或ハ人ヲシテ之ヲ定メシム、又司令官ハ一名ノ龍騎兵士官ニ

六名ノ傳令騎兵ヲ付シ次ノ指示ヲ與ヘテ「フランクフルト」ニ遣ス可シ其指示ハ則チ第一「ダムホルスタット」ニ在ル師團架橋縱列ハ其地ニ於テ宿營スヘク第二「フランクフルト」ノ市長ヲ督勵シテ負傷者ヲ運搬スル車輛及ヒ醫官ヲ「クローチルスドルフ」ノ方ニ送ルヘク又「フランクフルト」ニ於テ負傷者ノ宿營ヲ準備シ、第三大行李ヲ「レプーゼルホルスタット」ヨリ招致シムルコト等是ナリ

第十四問題

十月三十一日午後第五時三十分ニ於ケル西軍

枝隊ノ戦況

午後五時三十分頃練瓦製造所ノ近傍ニ在ル枝隊司令官

ノ許ニ報告到着ス曰ク敵ハ「レツベンシエ」森林ノ西端ヲ
撤去シ退却行進ヲ始メタリト

問題

枝隊司令官ノ部署及ヒ命令

説明及ヒ答解

枝隊司令官ハ先ツ同地ニ在ル重歩兵聯隊長ヲ顧ミ告ケ
テ曰ク

余ハ今ヨリ前哨ヲ配置セントス依テ二個ノ前哨枝
隊ヲ編成スヘシ其一ハ右翼ノ前哨枝隊ニシテ貴官
ノ部下第四大隊及ヒ之ニ附加シタル龍騎兵一小隊
ヨリ編成シ「クイーテルスドルフ」ノ東南ニ在ル小森林

ヨリ「ノイエンドルフ」ニ通スル捷路ヲ進ミ「ヒーテル」
河ニ沿フテ前哨ヲ配布セシムベシ其二ハ左翼ノ前
哨枝隊ニシテ此所ニ在ル他ノ一大隊ト之ニ属ス
ル龍騎兵一小隊トヲ以テ之ヲ編成シ「ノイエンドル
フ」ニ通スル本街道ヲ進ミ共ニ「ヒテル」河ニ沿テ前哨
ヲ配置セシム可シ而シテ此ノ両枝隊ハ互ニ連絡ヲ
保タサル可ラス殘餘ノ軍隊ハ「クイーテルスドルフ」ノ
舍營ニ就ク可シ余ハ既ニ大行李ノ前進ヲ命セリ大
行李ハ密集シテ「クイーテルスドルフ」ノ西南出口ニ於
テ車陣ヲ作ルヘシ余ハ尙貴官ニ望ム両前哨司令官
ニ詳細ナル訓示ヲ與ヘ且ツ命令受領者ヲ「クイーテル

スドルフニ在ル余ノ許ニ送ラレシコトヲ
次ニ枝隊司令官ハ巳ノ傍ニ在テ前項ノ命令ヲ聽キ居タ
ル副官ニ命シ殘餘ノ軍隊ニ指示スルニ次ノ事項ヲ以テ
セシム即チ既ニ準備シタル舍營内ニ各隊ノ進入スヘキ
コト且ツ各隊ヨリ「クイテルスドルフ」ノ市場ニ在ル枝隊司
令部ニ命令受領者ヲ送ルコト是ナリ
枝隊司令官ハ舍營ニ到着シタル後「フランクフルト」ヨリ
發スヘキ電報ヲ草ス

「クイテルスドルフ」ニ於テ千八百、
三十一日晚第六時十五分

「伯林」ニ於ケル地方總督府宛

午後一時三十分「クイテルスドルフ」ニ於テ「フランク
フルト」ニ向テ前進スル敵ト衝突シ三時間ニ互ル劇
戦ノ後敵ハ退却セリ本隊ハ「クイテルスドルフ」ニ前
哨ハ「ヒウチル」河ニ在リ敵ハ歩兵六乃至八大隊騎兵
若干中隊及ヒ砲兵三中隊ナリ我軍ハ大約千五百名
ノ兵卒ヲ失ヘリ余ハ明日續イテ前進セントス

X 少將

枝隊司令官ハ其後次ノ枝隊命令ヲ下セリ

「クイテルスドルフ」ニ於テ千八百、
三十一日晚第六時三十分

枝隊命令

- 一、敵ハ「レツペンシエ」森林ノ西端ヲ撤去シテ退却セリ
- 二、枝隊ハ「ク」チルズドルフニ宿營シ「ヒウチル」河ニ前哨ヲ配置ス
- 三、右翼ノ前哨(重歩兵聯隊第四大隊及ヒ龍騎兵一小隊)ハ「ク」チルズドルフヨリ「ノイエソドルフ」ニ通スル捷路ニ左翼ノ前哨(重歩兵聯隊第一大隊及ヒ龍騎兵一小隊)ハ本街道ニ前進セリ
- 四、本隊ノ宿營左ノ如シ
歩兵第四十八聯隊及ヒ龍騎兵三中隊半ハ「ク」チルズドルフノ東北部、重歩兵聯隊ノ二大隊、獵兵及ヒ砲兵ハ其ノ西南部、工兵中隊ハ小水車師團架橋縱列ハ「フ」ランクフルトノ「ダムホルスタット」ニ於テ「ク」チルズドルフノ舍營司令官ハ

- B 大佐トス
- 五、衛生枝隊ハ「スピツツ」山ニ在ル農厦及「ク」チルズドルフノ西南出口ニ在ル農厦ニ負傷者ヲ集ムヘシ「フ」ランクフルト市ニハ負傷者運搬用ノ車輛及ヒ醫官ヲ送ルヘキ命令ヲ與ヘタリ負傷者ハ成ル可ク速ニ「フ」ランクフルトノ市病院ニ送ルヘシ
- 六、大行季ハ「ク」チルズドルフニ來リ其ノ西南出

口ニ車陣ヲ作ルヘシ

七、B大佐ハ此レニ關スル部署ヲ定ムルモノトス
給養ハ携帶口糧ヲ用ヒ糧食車ヨリ若クハ徵發
ヲ以テ直ニ之ヲ補充スヘシ

八、枝隊ハ(前哨ヲ缺ク)明早朝第七時ニ「グーネルス
ドルフ」ノ東方面ニテ「ノイエンドルフ」ニ通ス
ル本街道及捷路ノ中間ニ集合シ前進ノ準備ヲ
爲シ在ル可シ步兵第四十八聯隊及龍騎兵ハ村
落ノ本街道出口ヲ經テ此ノ集合所ノ方ニ行進
シ殘餘ノ軍隊(師團架橋縱列モ)ハ村落ノ東南出
口ヲ經テ行進スヘシ但シ前哨ハ其儘停止スヘ

シ

大行李ハ午前八時ニ繫架ス可シ

九、余ハ午前七時「グーネルスドルフ」ノ東方ニ在ル
集合所ニ於テ報告ヲ受ク

旅團長X少將

吾人ハ上ニ記載シタル部署ニ關シ仔細ニ之ヲ研究セン
ト欲ス

枝隊司令官ハ最初ニ前哨ニ關スル處置ヲ決定シ次ニ前
哨勤務ニ服スヘキ重歩兵聯隊ノ二大隊ヲ直轄スル聯隊
長ニ向テ明瞭ニ自己ノ意見ヲ述ヘ且ツ兩前哨司令官ニ
適當ノ訓示ヲ與ヘン「」ヲ托セリ蓋シ兩前哨司令官直ニ

枝隊司令官ヨリ命令ヲ受クヘキ場合ニハ特ニ聯隊長ヲ
 煩ハスノ要ナシト雖モ現在ノ如キハ否ラス如此スルヲ
 以テ利益アリトスト何ナレハ枝隊司令官ハ目下自己ノ
 負擔ヲ輕クセハ他ノ事務ヲ處置スル爲メ猶豫ヲ得ル者
 ナレハナリ又此ノ前哨勤務ニ服スヘキモノハ第一線ニ
 在ル軍隊ヨリ之ヲ取ルヲ良トス然ルキハ速ニ敵ニ續行
 セシムルヲ得可シ若シ遙ニ後方ニアル軍隊ヲ以テ之ニ
 充テントスルキハ其疲勞ノ度ヲ知ラサルカ故ニ勤務ノ
 適否ヲ判別スルヲ能ハス龍騎兵聯隊長カ前哨勤務ノ爲
 メニ豫メ備ヘタル龍騎兵二小隊ハ曾テ「フランクフルト」
 ニ向ヒ行進中前衛ニ附シタル者ニシテ從來最モ疲勞セ

サル所ノ者タリ又前哨ハ幾何ノ兵力ヲ以テ編成スヘキ
 ハ敵ノ退却シタル程度ヲ知ラサルヲ以テ之ヲ決定スル
 ヲ能ハサルモ敵ノ新抵抗ニ遇フニ當リ之ヲ擊破スルニ
 堪ユルノ兵力ヲ有セサル可ラス特ニ彼若シ「ヒュートル」
 河ヲ以テ前哨陣地ニ撰定スル時ハ之ヲ驅逐シ得ルカ如
 ク其兵力ヲ強大ナラシメサル可ラス若シ亦敵兵「ノイエ
 ンドルフ」マテ退却セハ前哨司令官ハ前哨勤務ニ必要
 ナラサル軍隊ヲ區分シ之ヲ「ヒュートル」河ニ沿フテ散在セ
 ル農圃ニ宿營セシムルヲ得可シ抑勝利ヲ得タル戰鬪
 后殊ニ夜間ニ在テ前哨ノ取ルヘキ配置ハ歩兵ヲ以テ街
 道ヲ守備セシムルヲ以テ足レリトシ騎兵ヲ以テ斥候勤

務ニ充テ、以テ敵ト觸接ヲ維持セシムルニ在リ本例ノ如ク敵ノ目的及其配備ヲ知ラサル時ニ在テハ前哨司令官ヲシテ充分ナル獨斷ヲ爲サシメサル可ラス今ニ至ル迄敵情ニ關シ知ル所ハ敵ノ「レツベンシエ」森林ノ西端ヲ退去シタルヲ以テ森林中ニ停止スルナク「ヒユイ子」河マテ退却セシナラントノ推測ヲ下スヲ得ルノミ西軍枝隊ノ前哨位置ハ「ヒユイ子」河マテ之ヲ進メタルカ故ニ其本隊ヲ距ル三千乃至五千米突前方ニアリ平常ノ狀況ニ於テハ遠キニ過ク可シト雖モ專ラ地形ニ因ラサル可ラサルヲ以テ亦不得已ナリ即其理由ハ「クイ子」ル「スドルフ」ハ本隊ノミ使用シ得ヘキ村落ナルヲ以テ前哨

ハ敵ヲ尾撃シ之ヲシテ恐怖シテ「レツベンシエ」森林内ニ駐止スル能ハサラシメ己レ其東端ニ達シ此處ニ流過スル所ノ「ヒユイ子」ル「河」ニ其位地ヲ撰定スルノ必要アレハナリ是ニ因テ之ヲ觀レハ本隊ト前哨トノ距離ハ專ラ地形ノ爲メ影響ヲ受クルモノタルヲ知ル可キナリ今兩枝隊ヲ以テ敵ヲ尾撃ス敵ハ「ノイエンドルフ」ニ向フヤ或ハ「ツアウロ」ニ向ヒ退却スルヤ其孰レカ是ナルヲ知ザラルヘカラサルナリ

重歩兵聯隊長ハ大行李ハ「クイ子」ル「スドルフ」西南出口ニ密集シテ車陣ヲ編成シ在ル「クイ子」ル「スドルフ」ノ通知ヲ受ケタリ蓋シ「クイ子」ル「スドルフ」ハ「フランクト」ニ運搬セラルヘキ負

傷者アリ加之大行李ノ車輛ヲ該村ニ入ル、時ハ「クイ子
ルスドルフ」ノ街道全ク閉塞スルニ至ルヘキヲ以テ是ヲ
「クイ子ルスドルフ」ノ西南出口ニ車陣ヲ編成セシメタル
ナリ故ニ該村ニ宿營スル軍隊ハ車陣ヨリ其需要品ヲ運
搬セサル可ラス

其後枝隊司令官宿營ニ着スルヤ直チニ本日ノ成績ニ關
シ其高等官衙ニ送ルヘキ電報ヲ認メタリ其文ニ曰ク(三時
間ニ互ル劇戰ノ後敵ハ退却セリ)此文中退却ノ二字ニ着
意スヘシ戰況ニ於テ示ス如ク敵ハ「クイ子ルスドルフ」ノ
戰鬪ヲ中止シタルハ其目的ヲ達スル能ハサルヲ信シタ
ルカ故ナルヘシ然レモ彼レ自ラ退却ヲ爲シタルモノニ

シテ敢テ我カ爲ニ擊退セラレタルニアラス故ニ此電報
ニハ敵ハ充分敗北セルカ如ク認ムヘカラス況ニヤ敵ハ
「レツペンシエ」森林ノ西端ニ駐止セシニ於テヲヤ、尙此電
報中ニハ戰鬪ノ形况ヲ説明セリ即チ敵ノ兵力我軍ノ損
失及結文ニ就テ之ヲ視ルモハ自ラ釋然タルヘシ此結文
ナル「明日續テ前進セントス」ノ語ハ特ニ注目スヘキモノ
タリ此際追擊ナル語ヲ用ユルハ宜シク避クヘシ何トナ
レハ前進ニ換ユルニ追擊ノ語ヲ以テセハ翌日敵ハ既ニ
駐止セス否駐止スル能ハサルヲ証明スルモノナレハ
ナリ然ルニ敵ハ如此敗ヲ取りタルモノニアラス
地方總督府ハ此電報ニ因リ劇烈ナル戰鬪ノ后チ西軍枝

隊ハ充分ニ敵ヲ敗ラサルモ尙ホ勝利ヲ收メタルヲ知ルヘシ、斯ノ如ク戦闘ノ第一報告ヲ認ムルニハ常ニ留心傾意セサルヘカラス何トナレハ高等官衛ハ此報告ニ基キ爾后ノ決心ヲ爲シ且ツ命令ヲ出スヘケレハナリ即チ事實ヲ修飾スルヲナキヲ要ス乞フ戰史ヲ繕ケヨ報告中ニ事實ヲ隱蔽シタル爲メ不幸ヲ招キタルノ例豈ニ尠シトセンヤ見ヨ元帥「パセー」ノ千八百七十年八月十九日ノ電報ヲ即チ余ハ方向ヲ北方ニ取リ「シヤロン」ニ向テ進ントスナル語ハ從來望ナキ「ライ」軍ヲ援助スヘカラスト決心セシ所ノ「ロクマホン」ヲ起シテ之ニ關ラシメ爲メニ「シヤロン」軍ヲシテ「セダン」ノ不幸ナル戦闘ヲ爲サシ

ムルニ至レリ蓋シ斯ノ如キ行進ヲ爲スヘキヤ否ヤ未タ曾テ熟考シタルニアラサルヘシ察スルニ「バトセ」ノト雖モ當時之ヲ試ミルノ意アリシニアラス只電報ノ前半ハ奈破烈翁帝ヲシテ不愉快ナル感覺ヲ起サシムヘキヲ以テ幾分カ之ヲ減センカ爲メ特書シタルモノナラン
 枝隊司令官ハ地方總督府ニ宛テタル電報ヲ認メタル後枝隊命令ヲ筆記セシム、此命令ノ最初ノ七項ハ既ニ口演シタル所ノ者ヲ載ス第一卷ニ於テ既ニ陳ベタル如ク再ヒ之ヲ筆記セシムルハ必要ナリ是各部隊ヲシテ能ク其一般ヲ了解セシメンカ爲メナリ蓋シ口達命令ハ各前部隊ニ只其部隊ニ關係スルモノ、ミヲ示シ一般ノ情況ヲ知

ラシムル能ハサルモノナリ
 又筆記命令ヲ以テ其口達シタル部署ヲ忘却セシメサル
 必要ナリ―枝隊命令ノ第八項ハ各部隊カ集合地ニ趨
 クニ當テ取ルヘキ道路ヲ教示セリ是レ道路ノ閉塞ヨリ
 集合ノ遲滯ヲ生スルノ患アルヲ以テ之ヲ示スト極メテ
 必要ナリ却説歩兵六大隊騎兵三中隊半砲兵三中隊工兵
 一中隊及師團架橋縱列等大約半獨里ノ行軍長徑ヲ有ス
 ル行軍縱隊ヲ集合所ニ集合セントス此時ニ當リ軍隊各
 個ニ其警急集合所ヲ午前第七時前ニ出發シ恰モ獨立シ
 テ總集合所ニ到ルノ計算ヲ以テ行進スルルハ全枝隊ハ
 第七時ニ集合スルヲ能ハサル可シ是レ同一ノ道路ヲ行

進スルルハ數多ノ軍隊ノ長徑ヲ時間中ニ加算セサルハ
 カラサルヲ以テナリ故ニ各軍隊ハ定時ヨリモ早ク出發
 セサル可ラス
 飯令ハ五百歩ノ行軍長徑ヲ有スル歩兵一大隊集合地ニ
 至ルニ三十分間ヲ費スモノトスベシ尙他ニ三大隊アリ
 テ同一ノ道路ヲ進ムモノトスル時ハ三大隊ハ千五百歩
 ノ行軍長徑ヲ有スルヲ以テ十五分間ヲ費スニ至ルハシ
 即チ此四大隊ハ獨立シテ行進スル時ヨリモ十五分間早
 ク出發セサレハ規定ノ時限マテニ集合地ニ達スルヲ能
 ハス故ニ最初ノ大隊ハ命令ノ時間ヨリモ四十五分早ク
 出發スヘキモノトス―軍隊カ午前第七時ニ集合地ニ於

テ取ルヘキ隊形ヲ筆記命令中ニ記載スルヲ要セス且ツ之ヲ記載スルヲモ亦タ適當ナラス軍隊ノ到着スルニ際シ之ニ場所ヲ教示スルハ旅團副官ノ任務ニシテ配置ノ方法ニ至テハ敢テ重キヲ置クニ足ラス一概シテ大兵團ノ爲メ集合地ヲ定ムレハ徒ニ時間ヲ消費スルヲ多キヲ以テ宜シク之ヲ避ケサルヘカラサルナリ

西軍枝隊司令部ハ前記ノ枝隊命令ヲ傳達スルヲ以テ未タ十月三十一日ニ於ケル事務ヲ完結スルモノト云フ可ラス尙日々命令ヲ出シ戦闘ノ爲メニ必要ナル凡百ノ部署ヲ爲スヘシ即チ死傷表彈藥費消表ヲ製シ之ヲ補充スルノ手續ヲナシ又會戰地ヲ掃除シ之カ爲メ獨リ人民ヲ

負傷者及
給養ニ關
シテ
命ニ關
シテ
ノ者ハ日
々命令ニ
モ亦タ記
載スヘシ

要スルノミナラス猶ホ車ヲ要スヘシ凡ソ平時ニ於テ執レル凡百ノ事務ハ戰時ニ於テモ亦之ヲ繼續セサルヘカラサルモノトス然ルモハ枝隊司令部ハ十月三十一日ニハ深夜ニ至ル迄執務セサル可ラス又枝隊司令官自カラモ先キニ地方總督ニ宛タル電報ヲ補充センカ爲メニ更ニ送ルヘキ日々詳報ヲ認ムヘシ一作戰中高等司令部ハ多クハ深夜ニ至ルマテ執務スヘキモノナリ然レモ隊附將校ハ其軍隊ヲ宿營セシメタルヤ直チニ休憩スルヲ得ヘシ

第十五問題

十一月一日朝ニ於ケル西軍枝隊ノ戰況

前哨ノ報告ニ從レハ敵ハ十月三十一日ノ晚ノホエンド
 ルフニ退却シ、該村ノ西方ニ前哨ヲ配置シタルモノ、如
 シト又十一月一日ノ朝ノイエンドルフニ派遣セラレタ
 ル騎兵斥候ハ同一ノ位地ニ在ル敵ニ遭遇シタリ
 西軍枝隊ハ朝第七時次ニ示ス如ク、クトチルスドルフノ
 東方集合所ニ集合セリ即チ、
 重歩兵聯隊第二第三大隊、獵兵、砲兵及ヒ工兵枝隊ハ、クト
 チルスドルフヨリノイエンドルフニ通スル捷路ノ近傍
 ニ歩兵第四十八聯隊及ヒ龍騎兵聯隊(半中隊ヲ除ク)ハ、ク
 トチルスドルフヨリノイエンドルフニ通スル本道ノ近
 傍ニ

前哨ハヒウチル河ニ在リ、大行李ハ馬匹ヲ繫テ、クトチル
 スドルフノ西南出口ニ停止セリ、工兵中隊ノ大部分ハ戰
 場ヲ清掃スルノ任ヲ受ケタルヲ以テ未タ集合セス又砲
 兵中隊ノ第二梯隊ノ彈藥車モ空虛トナリタルヲ以テ、伯
 林ヨリ彈藥補充ヲ仰カンカ爲メ後方ニ退却セリ又第二
 梯隊ノ輓馬ハ戰鬥中隊ノ馬匹ヲ補充スル爲メ之ヲ應用
 セリ、又「フランクフルト」ノ「ダムホルスタット」ニ停止シタ
 ル師團架橋縱列ノ輓馬ハ戰場ヲ清掃スル爲メ之ヲ進マ
 シメタリ又衛生枝隊ハ尙ホ未タ集合處ニ來ル能ハサリ
 シ何トナレバ該枝隊ハ當時尙ホ負傷者ヲ治療シ居タル
 ハナリ、各歩兵大隊ハ平均八百名ノ兵卒ヲ有シ、各騎兵中

隊ハ各百三十五頭ノ騎兵ヲ有セリ而メ軍隊ノ十月三十
一日ニ消費シタル彈藥ハ攜帶セシ彈藥ノ半數ニ過キズ

問題

前進ノ爲メ與フル枝隊司令官ノ命令

説明及ヒ答解

枝隊司令官ハ十一月一日前進セント欲スル企圖アル事
ハ既ニ十月三十一日ノ晚地方總督府ニ報告シタルヲ見
テ知ル可シ其後ノ戰況モ亦々此企圖ヲ變更スヘキ必要
ヲ認メシメス却説敵兵ハ果シテ「スイエンドルフ」ニ於テ
停止シ在ルヤ否ヤ之ヲ判定スルヲ能ハスト雖モ現今ノ
情況ニヨレハ先ツ該村ニ停止スルモノト期セサルヘカ

ラス、而シテ「スイエンドルフ」ニ前進スルニ兩道アリ勉メ
テ速カキ展開セント欲セハ宜シク此ノ兩道ヲ使用セサ
ルヘカラス、殊ニ此ノ兩道ハ敵兵「スイエンドルフ」ニ停止
スルニ當リ之ニ向テ展開セントスル場合ニ於テハ恰モ
相合シテ我展開ノ爲メ毫モ支障ナカラシム而シテ捷路ノ
方ハ此ノ相合點迄七吉羅米突本道ハ八吉羅米突トス兩
點ノ差僅カニ一吉羅米突ナルヲ以テ本街道ヲ經テ行進
スル縱隊ヲシテ少シク早ク出發セシムルハ兩縱隊ノ
相合點ニ於テ遭遇スルヲ殆ント疑ナカルヘシテ而シテ此
兩道ヲ行進スルニ當リ右翼縱隊或ハ左翼縱隊中孰レヲ
以テ兵力ヲ強クナラシムヘキヤハ單ニ道路ノ善惡ニ由

リ之ヲ定メテ可ナリ何トナレハ我カ軍隊ハ敵ニ遭遇ス
ル場所及ヒ時限ヲ豫知スルヲ能ハサルハナリ夫ノ大行
季ハ「ノイエンドルフ」ノ附近ニ於テ敵ト遭遇スルノ虞ア
ルヲ以テ一時之ヲ「クトチルスドルフ」ニ停止セシメサル
ヘカラス

隊司令官ハ如此ク決定シタル後チ各佐官ヲ召集シテ
次ノ口演命令ヲ與フ

敵ハ昨日「ノイエンドルフ」ニ退却シタリ敵ノ前哨ハ
今朝尙ホ「ノイエンドルフ」ノ西方ニ在ル報告ヲ受ケ
タリ
余ハ二縦隊ヲ編成シテ「ノイエンドルフ」ニ向テ前進

シ敵若シ該村ニ停止スル時ハ之ヲ攻撃セント欲ス
重歩兵聯隊長C大佐ハ重歩兵聯隊第一大隊ヲ除ク
獵兵、騎兵第四中隊、左翼前哨ニ在ル一小隊ヲ除ク砲
兵一中隊、及ヒ工兵枝隊ヲ以テ編成シタル右翼縦隊
ヲ指揮シ「クトチルスドルフ」ヨリ「ノイエンドルフ」ニ
通スル捷路ヲ前進スヘン右翼ノ前哨モ之レニ合ス
ヘン
歩兵聯隊長B大佐ハ歩兵第四十八聯隊左翼前哨タ
ル重歩兵聯隊第一大隊、龍騎兵聯隊(三小隊ヲ除ク)及
ヒ砲兵大隊(一中隊ヲ除ク)ヲ以テ編成シタル左翼縦
隊ヲ指揮シ本道ヲ經テ「ノイエンドルフ」ニ前進スヘ

大行李ハ一時此處ニ停止シアルヘシ
余ハ右翼縱隊ト共ニ行進スヘシ

兩縱隊ハ直チニ出發セヨ

此ノ命令中注意スヘキハ前衛及ヒ本隊ノ軍隊區分ニハ
兩縱隊共ニ司令官アルヲ以テ枝隊司令官ヨリ之ヲ命セ
サリシコト是ナリ若シ敵兵既ニ「ノイエンドルフ」ヲ撤去シ
之ト遭遇セサル場合ニハ枝隊司令官兩道ノ相合ニ
ニ於テ更ニ行軍序列ヲ命セサル可ラス

第十六問題

一般ノ戰況「ノイデル河畔」「フランクフルト」區ノ

參謀圖參觀

連戰連勝ノ東軍ハ一敵國ニ於テ一其二軍團ノ一ヲ以テ
「キュストリン」ヲ圍繞シ其一軍團ヲ以テ「フランクフルト」
ヲ經テ「ケベニツク」ニ侵入セシメタリ此軍團ノ一枝隊(東
軍枝隊)ハ「フランクフルト」ヲ占領ス

敗績シタル西軍ハ「ケベニツク」ト「柏林」ノ中間ニ其一枝隊
(西軍枝隊)ハ「ニールラウヂツツ」ニ在リ

十月一日午後第二時ニ於ケル東軍枝隊ノ戰況

軍隊

重歩兵第十二聯隊(三大隊)

龍騎兵第十二聯隊第一中隊

「キュストリン」
「フランクフルト」
「ケベニツク」
「ノイデルラウヂツツ」
「柏林」
「フランクフルト」
「ケベニツク」
「ノイデルラウヂツツ」
「柏林」
「フランクフルト」
「ケベニツク」
「ノイデルラウヂツツ」
「柏林」
「フランクフルト」
「ケベニツク」
「ノイデルラウヂツツ」
「柏林」

「ベリス」
「コウ」
「フ」
「ラ」
「ン」
「ク」
「フ」
「ル」
「ト」
「ア」
「リ」
「南」
「三」
「獨」
「在」
「リ」

野戰砲兵第十八聯隊第一中隊

「ケベニツク」ニ前進セシ軍團ハ「フランクフルト」ニ於ケル
「ライデル」河ノ渡過ヲ確實ナラシメンカ爲メ一枝隊ヲ「フ
ランクフルト」ニ殘置セリ東軍枝隊是ナリ此枝隊ハ騎兵
斥候ヲ實驗シタル報告ニヨリ敵ハ九月三十日ノ晚南方
ヨリ「ベリスコウ」ニ進入シタルヲ知レリ枝隊ハ之ヲ「ケ
ベニツク」ニ在ル高等司令部ニ通報セシニ該司令部ヨリ更
ニ敵ノ軍隊「フランクフルト」ニ前進スル時ハ之ニ對シテ
前進シ之ヲ擊退スベキノ命令ヲ受領シ尙「ベリスコウ」ヨ
リ來レル報告ニ因リ乃チ枝隊ハ十月一日「ミュルロトゼ
ニ向テ前進セリ然ルニ正午頃「マルケンドルフ」ニ於テ敵

ト衝突シテ戰鬪ヲ開始シタリ此ノ戰鬪ノ午后第二時頃
ノ概況ハ左ノ如シ

歩兵二大隊ハ約歩兵三大隊ヲ以テ本街道ヨリ攻撃シ來
ル敵ニ對シテ「マルケンドルフ」ヲ防禦シ重歩兵聯隊ノ銃
兵大隊(但シ一中隊ヲ除ク)ハ「マルケンドルフ」ノ北方出口
ニ豫備トシテ停止シ砲兵中隊ハ村落ノ西北ニ在ル陣地
ヨリ本街道ノ近傍大約一千五百米突ノ距離ニ停止スル
敵ノ砲兵中隊ニ對シテ射撃シ騎兵中隊ハ右翼ヲ警戒シ
「マルケンドルフ」森林ニ斥候ヲ派遣シタリ而シテ「フラン
クフルト」市ノ木橋及南方ニ在ル鑛道橋ハ合計一中隊許
ノ歩兵枝隊ヲ以テ占領セシメタリ大行李ハ「フランクフ

ルトノ人民敵心ヲ抱クヲ以テ「クリストウ」ニ集合セリ
枝隊司令官ハ同時ニ次ノ報告ヲ受タリ曰ク敵ノ數多ノ
歩兵大隊ハ「マルケンドルフ」森林中ノ鐵道ニ沿フテ前進
シ其先頭ハ既ニ「マルケンドルフ」ト齊頭ノ所ニ在リト

天候

晴朗ニシテ暖和ナリ

問題

枝隊司令官カ次ニ爲スヘキ決定及ヒ處置

説明及ヒ答解

東軍枝隊ハ「マルケンドルフ」ニ於テ殆ント同一ノ兵力ヲ
有スル敵ノ部隊ト戰フ一二時間ニ及ンテ報アリ曰ク敵

ノ數多歩兵大隊ハ「マルケンドルフ」森林中ノ鐵道ヲ進ミ
其先頭ハ「マルケンドルフ」ト齊頭ノ所ニ達セリト而シテ
此敵ハ衆多ナル歩兵ナルノミナラス我左翼ハ既ニ危ク
尙且「フランクフルト」ニ至ル通路ヲ遮斷セラレ、ノ患ア
リ今ヤ枝隊ハ依然トシテ「マルケンドルフ」ニ於テ戰鬥ス
ルハ策ノ得タルモノニアラサルヲ知ル然ラハ則チ「フラ
ンクフルド」ニ向テ退却セン歟枝隊ハ今尙「フランクフ
ルド」ニ向テ退却ヲ實施シ得ルモ背後ニ在ル敵地ノ市街
ヲ掩護セントシテ優勢ナル敵ト對戦スルハ不幸ナル
狀況ニ陥ラン即チ枝隊ハ「フランクフルト」ニヨルキハ「ラ
ーデル」河ノ左岸ニ沿テ北方ニ退却シ或ハ「ラーデル」河ノ

百
橋梁ヲ渡過シテ其右岸ヲ退却スルノ情況ニ陥ルナラン
然レモ亦タ「ケベニツク」ニ在ル軍團ノ爲メニハ「フランク
フルト」ヲ占領スルヲ最モ緊要ナリ何トナレハ該市ヲ失
ヘハ其後方ノ連絡ハ之カ爲メニ破レハナリ是ヲ以テ枝
隊ハ「ヌーニツシ、フアルウエルク」ニ於テ側方陣地ヲ占メ
以テ敵ト「フランクフルト」ノ占領ヲ爭フヲ試ミサルハ
カラス、如此スルハ敵ハ此ノ陣地ヲ側面ニ見テ「フラン
クフルト」ニ進入スル能ハス彼レ必ス先ツ此枝隊ヲ攻撃
セサルヘカラス枝隊此側方陣地ニ據ルハ「ヌーニツシ」ヲ
經テ「クリストウ」ノ方ニ通スル逃路存ス、一枝隊ハ先ツ「ケ
ベニツク」ニ在ル高等司令部及ヒ「キユストリン」ヲ圍繞ス

ル軍隊ノ高等司令部ニ此ノ危急ヲ告ケサルヘカラス其
他枝隊ハ「フランクフルト」ノ橋梁ニ置キタル歩兵枝隊敵
ノ攻撃ヲ受クルニ當テハ「ライデル」河ノ右岸ニ退却シ狀
況最モ不利ナル時ハ「キユストリン」ノ前方ニ停止スル軍
隊ニ投合スヘキヲ通報セサルヘカラス
次ニ枝隊司令官ハ「ヌーニツシ、フアルウエルク」ノ方向ニ
退却スルヲ決シ豫備隊タリシ重歩兵聯隊ノ銃兵大隊
ハ退却ノ後衛トナルヘキヲ命シ又次ノ如キ電信ヲ發セ
リ

「マルケンドルフ」ニ於テ千八百、
日午后第二時十分、
年十月一

余ハ二時間ノ戦闘后數多ナル敵ノ歩兵大隊ハ我カ
左側面ニ迂回シタルヲ以テ「ヌー」ニツシ、フヲルウエ
ルクニ退却シ側方陣地ヲ占メ更ニ之ニ抵抗セント
ス若シ不幸ナル場合ニ至ラハ余ハ「ヌー」子シ「ヲ」經敵
ヲ「クリストウ」ノ方ニ避ク

枝隊司令官又大佐

此ノ電報ハ一名ノ龍騎兵ヲシテ速ニ之ヲ「フランクフル
ト」ニ持チ往カシメ該所ヨリ上ニ記シタル如ク兩高等司
令部ニ傳ヘシムルモノトス次ニ第二ノ騎兵ヲシテ橋梁
ニ殘シタル歩兵枝隊ニ命令ヲ傳達スヘキヲ命スベシ特
ニ「フランクフルト」ノ南方ニ在ル鐵道ノ橋梁ニ停止スル

枝隊ハ敵ノ危險ヲ受クヘキヲ以テ最初ニ命令ヲ與ヘザ
ルヘカラス

第十七問題

十月一日午后四時三十分ニ於ケル西軍枝隊ノ

戦况

軍隊

輕歩兵第三十六聯隊(四大隊)

獵兵第四大隊

輕騎兵第十二聯隊第一、第二、中隊

野戰砲兵第十九聯隊第一中隊

野戰工兵第四大隊第一中隊

西軍ハ決戦ヲ爲サント欲シ「伯林」附近ニ集合セリ此時「
 ーデルラウヂツ」ニ屯在シタル西軍枝隊ハ「フランクフ
 ルト」ニ行進スヘキ命ヲ受ク其任務ハ「ヲーデル」河ノ橋梁
 及ヒ鐵道ヲ破壊スルニ在リ此枝隊ハ九月三十日ノ晚「
 ースコウ」ニ達ス此時西軍ノ高等司令部ヨリ通報アリ曰
 ク「キユストリン」司令官ハ十月一日突圍戦ヲ爲シ以テ攻
 城兵ヲシテ「フランクフルト」ニ於ケル彼ノ枝隊ヲ援助ス
 ル能ハサラシム可シト

西軍枝隊ハ十月一日「ミュルローゼ」ヲ經テ前進シ正午頃
 「マルケンドルフ」ニ於テ「フランクフルト」ヨリ前進シ來リ
 シ敵ト衝突シタリ枝隊ハ管テ輕騎兵聯隊第一中隊ヲシ
 テ「ペーテルスハーゲン」ヨリ「ヤコーブスドルフ」ニ互ル線
 ノ西方ニ在ル土地ヲ搜索シ且ツ其西方ニ於テ電信線及
 ヒ鐵道ヲ破壊セシメンカ爲メ「ミュルローゼ」ヨリ「ヤコー
 ブスドルフ」ニ派遣シタリ「敵ハ「マルケンドルフ」ニ於テ
 頑固ナル抵抗ヲ爲シタリト雖ヒ午後第二時頃我枝隊ノ
 二大隊カ「マルケンドルフ」ノ森林ヲ通過シテ前進スルニ
 當リ其陣地ヲ撤去シ（大約歩兵三大隊騎兵一中隊及ヒ砲
 兵一中隊）「ヌーニツシ」フアルウエルク」ノ東北ニ於テ「フ
 ランクフルト」ニ通スル街道ニ對シ側面陣地ヲ占領シ
 タリ

西軍枝隊ハ更ニ一時半間ノ戦闘后敵ヲ「ヌーニツシ」フヲ

ルウエルクヨリ撃退セリ敵ハ午后四時三十分「ヌーテン」ノ方ニ退却シタリ「ヤコーブスドルフ」ニ派遣シタル騎兵中隊ハ命セラレタル破壊作業ヲ實施シ且ツ「ペーテルスハイゲン」ヨリ「ヤコーブスドルフ」ニ互ル線ノ西方一獨里迄搜索シタリト雖ヒ曾テ敵ニ關シ實見スル所ナシ唯タ北方數獨里ニ當テ砲聲ヲ聞キ又「チエツシノウ」ノ東方ニ在ル鐵道橋ノ方ニ前進シタル騎兵斥候ハ一小隊ノ敵ノ歩兵枝隊ト衝突シタリ

問題

枝隊司令官爾後ノ處置

説明及ヒ答解

西軍枝隊ハ十月一日午後第四時三十分迄ニ凡ソ三獨里半ノ行軍ヲ爲シ且ツ約三時間半ノ戦闘ヲ爲セリ之カ爲シ軍隊ノ兵力ヲ損セリト雖ヒ枝隊ニシテ若シ其任務ヲ完フセント欲セハ少ナクモ「クリストウ」迄敵ヲ追躡セサルヘカラス何トナレハ翌日ニ至レハ敵ハ兵力ヲ増加シテ西軍枝隊ノ退却ヲ促スニ至ラン「」ヲ恐ルレハナリ即チ西軍枝隊ハ十月一日ニ於テ受ケタル任務ヲ盡サ、ルヘカラス

之レカ爲メ兩軍枝隊ハ直ニ「ヌーテン」ノ方位ニ退却スル敵ヲ追躡セリ之レ敵ヲ再ヒ停止スル「」能ハサラシメ「」ノカ爲ナリ又工兵中隊ニ歩兵一中隊ヲ附屬セシメ之ヲ

「フランクフルト」ノ南方ニ在ル鐵道橋ニ派遣シテ之ヲ破壊スヘキノ任務ヲ與ヘタリ此工兵中隊ニハ又若干ノ傳令騎兵ヲ分與シ又「フランクフルト」ヲ搜索スル爲メ騎兵斥候ヲ派遣セサル可ラス

次ニ西軍枝隊「マートン」ヲ占領スルヤ直ニ歩兵一大隊ニ若干ノ傳令騎兵ヲ付シ之ヲ「フランクフルト」ニ派遣シ該市ヲ占領シ且ツ該市ノ職工ヲ召喚シ「ライデル」河ノ橋梁及ヒ鐵道ヲ破壊シ且「ライデル」河ノ右岸ヨリ行フ敵ノ作戰ニ對シテ此河流ヲ警戒セシム可シ尙枝隊司令官ハ「ヤコーブスドルフ」ニ派遣シタル輕騎兵聯隊第一中隊ニ報告紙ヲ以テ次ノ如キ命令ヲ傳達スベシ

「マートン」ニツシ「フアルウエルク」ニ於テ千八百、
、年十月一日午后第四時四十分

「ヤコーブスドルフ」ニ在ル輕騎兵第十二聯隊第一中
隊長宛

「マルケンドルフ」及ヒ「マートン」ニツシ「フアルウエルク」ニ
在ル敵ヲ擊退シ敵ハ「マートン」ヲ經テ退却セリ余ハ
之ヲ追躡ス貴官ハ夜間「ペーテルスドルフ」ニ於テ陣
地ヲ占メ「伯林」ニ對シ余カ左側面ヲ警戒スヘシ

枝隊司令官 X 少將

第十八問題

十月一日午后第六時ニ於ケル西軍枝隊ノ戰況

敵ハ西軍枝隊ニ追撃セラレ再ヒ停止スルヲ能ハス、ヌー
 テン[」]及[」]クリストウ[」]ヲ經[」]ウエスト、グー[」]チルスドルフ[」]ニ退
 却シタリ、午后六時頃西軍枝隊ノ前衛(獵兵第四大隊、輕騎
 兵聯隊第二中隊一小隊ヲ缺ク)ハ、クリストウ[」]ニ達シタリ
 本隊ハ輕歩兵聯隊(第四大隊ヲ缺ク)輕騎兵半小隊及ヒ砲
 兵中隊ニシテ、ウエグ[」]チルス、ウエルク[」]ニ到着セリ輕歩兵
 聯隊ノ第四大隊ハ(一中隊ヲ缺ク)若干ノ傳令騎兵ト共ニ
 「フランクフルト」ノ方ニ派遣セラレタリ、此歩兵大隊ノ最
 後ノ中隊ハ工兵中隊及ヒ若干ノ傳令騎兵ト共ニ「フラン
 クフルト」ノ南方ニ在ル鐵道橋ニ派遣セラレ大行李ハ「マ
 ルケンドルフ」ニマテ跟随シ來レリ、而シテ「フランクフルト」

ニ派遣シタル騎兵斥候ハ午后第四時三十分ニ「ゾーデル」
 河橋ノ附近ニ於テ敵ノ少數ナル歩兵枝隊ト遭遇シ市街
 ニハ敵兵ナシ

西軍枝隊ハ戰鬥ノ爲メ失フタル兵卒約千人ニ及ヒ其力
 殆ント盡ク然レモ敵モ亦非常ナル損失ヲ蒙リタルナラ
 ン何トナレハ彼レ遂ニ毫モ抵抗ヲ爲サ、レハナリ、北
 方ノ砲聲ハ益々近接ス

問題

枝隊司令官爾後ノ目的及ヒ部署

説明及ヒ答解

枝隊司令官ハ今ヤ前進運動ヲ中止シ軍隊ヲ休憩セシム

ルナラン何トナレハ枝隊ハ「クリストウ」ニ於テ陣地ニ據ルキハ「フランクフルト」及ヒ其周圍ニ行フヘキ破壊作業ノ爲メ北方ニ對シ充分安全ナレハナリ又西方即チ「伯林」ヨリハ一ノ危険タモ迫リ來ラサルヘシ何トナレハ輕騎兵聯隊ノ第一中隊ハ「フランクフルト」ヲ去ル「一日」行程ニ於テ電信及ヒ鐵道ヲ破壊シ且ツ搜索シテ敵ノ不意攻撃ニ備フレハナリ然レモ亦タ枝隊司令官タルモノハ縱令ヒ「ウエスト、クイテル」ニ擊退シタル敵ノ枝隊ハ業ニ已ニ攻勢ヲ取ル能ハサルモ彼ハ可成速カニ「フランクフルト」ヲ恢復スルノ企望アルコトヲ忘ルヘカラス即チ枝隊司令官ハ彼ハ「キュストリン」ニ在ル者ノ加入ヲ

得テ勉メテ速ニ「フランクフルト」ニ突進スル「ヲ」期スルモノト考エサル可ラス此動作タルヤ十月二日ノ夜マテニ彼レ實行シ得ルヤ否ヤ未タ之ヲ判定スル能ハスト雖モ之ヲ實行シ得ヘキモノト想定セサルヘカラス故ニ枝隊ハ嚴ニ北方及ヒ西北方ヲ搜索シ何時タリトモ敵ニ抵抗シ彼若シ優勢ナル兵力ヲ以テ前進スル時ハ「ミュンローゼ」ノ方ニ退却シ得ル如ク準備セサル可ラス之ヲ要スルニ枝隊ハ「フランクフルト」及ヒ其周圍ニ於ケル破壊作業ヲ實施シ終ル迄ハ敵ニ抵抗シ此ノ作業終リタル后ハ「ミュンローゼ」ノ方ニ退却セサルヘカラス故ニ迅速ニ此破壊作業ヲ實施スルハ甚タ必要ナリ

枝隊ノ状況如此危険ナルヲ顧慮シ殊ニ天候佳良ナルヲ以テ枝隊ハ露營ヲ布設セサルヘカラサルカ如シ然レモ大行李ハ「マルケンドルフ」ニ停止スルヲ以テ之ヲ招致スル能ハス

枝隊司令官ハ此ノ決定ニ因ツテ次ノ命令ヲ出ス

「クリストウ」ノ南方ニ在ル「ウエクチルス、フアルウエルク」ニ於テ千八百、年十月一日晩第六時十五分

枝隊命令

一、敵ハ「ウエスト、クリチルスドルフ」ニ退却シ「フランクフルト」ハ我カ掌裡ニ落ちタリ

二、枝隊ハ豫期シタル破壊作業ヲ終ルマテハ奪路シタル陣地ヲ維持シ之ヲ終ラハ「ミュルローゼ」ニ退却セントス

三、A少佐ハ獵兵大隊及ヒ騎兵第二中隊ノ一半ヲ率ヒ「クリストウ」ニ前哨ヲ配置シ以テ「ライデル」河ト「ボーゼン」ノ東方入口ヨリ北方ニ互レル谷地ノ中間トニ在ル土地ヲ警戒スヘシ(前哨本隊ハ露營トス)

四、當時前衛ニ屬スル輕騎兵ノ第三小隊ハ「ボーゼン」ノ西方出口ニ於テ小哨トナリ「ウルコウ」ヨリ「ドレップリン」ニ互ル線ヲ警戒スヘシ

- 五、騎兵第一中隊ハ「ペイテルスドルフ」ニ在テ「ペイテルスハイゲン」ヨリ「ヤコイグスドルフ」ニ互ル線ノ西方ヲ搜索ス可シ
- 六、B大佐ノ詳細ナル部署ニヨリ本隊タル輕歩兵聯隊(第四大隊ヲ缺ク)騎兵第二中隊ノ半小隊及ヒ砲兵中隊ハ「ウエグチルス」フアルウエルク」ニ露營スヘシ
- 七、輕歩兵聯隊第四大隊ノ三中隊ハ「フランクフルト」ニ一中隊ハ工兵中隊ト共ニ該市ノ南方ニ在ル鑛道橋ニ在ルヘシ
- 八、大行李ハ「マルケツドルフ」ニ在リ

九、給養ハ携帶口糧ヲ用ユヘシ

十、余ハ「ウエグチルス」フアル、ウエルク」ニ於テ舍營ス

枝隊司令官又少將

以上ノ部署ハ枝隊司令官ヨリ命令授與ノ前既ニ口演ヲ以テ過半命スル所タリ之レ猥リニ時間ヲ消費スルヲ防カンカ爲ナリ、然レモ總テ口演ヲ以テ定メタル部署ハ爾後尙ホ筆記セシムルヲ良トス何トナレハ各指揮官ヲシテ一般ノ方法ヲ知ラシムルヲ必要ナレハナリ、其他總テ必要ナントモ茲ニ記載セサル部署ハ之ヲ日々命令中ニ記載スルモノトス

第十九問題

十月二日午前十時ニ於ケル東軍枝隊ノ戦况
 東軍枝隊ハ「ヌーニツシ、フアルウエルク」ノ東北ニ側方陣
 地ヲ占メ以テ敵ヲシテ「フランクフルト」ヲ占領スルコト能
 ハザラシメント勉メタリシカ敵ノ攻撃ヲ受ケ一時間半
 ニ渉ル劇戦ノ后遂ニ北方ニ撃退セラレ晩第六時頃「ウニ
 スト、クーネズドルフ」ニ到着シ敵ハ之ヲ追躡シ「クリスト
 ウ」ニ來リ該村ノ北方ニ前哨ヲ配置セリ枝隊司令官ハ重
 歩兵聯隊ノ第一大隊及ヒ騎兵半中隊ヲ以テ「ウルコウ」ノ
 牧羊場ト齊頭ノ地ニ前哨ヲ配置シ本隊ハ「ウニスト、ク
 ールズドルフ」ニ於テ村落露營ヲ爲サシメタリ

枝隊司令官ハ十月一日ノ朝敵ノ「フランクフルト」ノ方ニ
 前進スル報告ニ接スルヤ敵ノ兵力若シ我カ枝隊ニ勝ル
 時ハ援助兵ノ差遣アラシ「フ」ヲ「キユストリン」ニ在ル攻城
 軍ノ高等司令官ニ向テ請求セリ然レモ高等司令官ハ此
 ノ請求ニ應スル能ハザリシ何トナレハ「キユストリン」ノ
 守城兵ハ城砦ノ西方面ニ衆多ノ軍隊ヲ集合シ突圍戦
 ヲ爲シタレハナリ然レモ薄暮ニ至リ再ヒ城砦ニ退却セ
 リ
 東軍枝隊司令官ハ「ウニスト、クーネズドルフ」ヨリ攻城
 軍ノ高等司令官ニ宛テ現状ニ關シテ報告シタル後晩十
 一時高等司令官ノ通報ヲ得タリ曰クA少將ハ混成一旅

團ヲ率ヒ十月二日午前第十時「シエンフリース」ニ到着シ
爾後東軍枝隊ノ指揮ヲ司トリ「フランクフルト」ヲ恢復セ
ントスト

十月二日ノ朝「フランクフルト」ヨリ再度雷鳴ノ如キ響音
ヲ聞ケリ察スルニ敵兵ノ破壊作業ヲ實施スル者ナラン又
午前第八時頃「ゲリッツ」ヨリ次ノ報告枝隊司令官ノ許ニ
到着セリ其報告ニ曰ク「フランクフルト」ノ橋梁ニ停止シ
タル歩兵枝隊ハ十月一日ノ晩敵ヲ避ケテ「ゲリッツ」ニ到
着セリ敵ハ橋梁ヲ占領シタル后直ニ之カ破壊ヲ始メタ
リト又A少將ハ十月二日午前第十時輕歩兵第三十四聯
隊(三大隊)歩兵第四十二聯隊(四大隊)鎗騎兵第九聯隊第一

第二中隊及ヒ野戰砲兵第二聯隊第二中隊ヲ率ヒテ「シエ
ンフリース」ニ到着セリ此時東軍枝隊ハ其前哨ヲシテ依然
舊位地ニ停マラシメ其本隊ハ行軍ノ準備ヲ爲シテ「ウエ
スト、グーテルスドルフ」ニ停止シ又敵ハ前哨ヲ「クリスト
ウ」ノ北方ニ配置シ其騎兵ハ「ウエルコー」ニ出沒ス東軍枝
隊司令官ノ推察スル所ニ據レハ敵ハ大約歩兵六大隊騎
兵若干及ヒ砲兵一中隊ヲ率ヒテ十月一日「フランクフル
ト」ニ前進シタルモノ、如シ

問題

A少將ノ命令

説明及ヒ答解

敵ハ十月一日「ベスコウ」ヲ發シテ「フランクフルト」ニ向ヒ
 前進シ而シテ東軍枝隊ヲ再度攻撃シ遂ニ「ウユストグー
 テルスドルフ」ニ退ク十月二日午後第十時其前哨ヲ「クリ
 ストウ」ノ北方ニ配置シタリ想フニ敵ハ我一軍團「ケベニ
 ック」ニ他ノ軍團ハ「キユストリン」ノ前方ニ在ルヲ熟知ス
 ルカ故ニ永ク「フランクフルト」ヲ占領セント欲スルノ目
 的ハ之ヲ有セサル可シ恐ラクハ東軍ノ後方連絡ヲ破リ
 且ツ「フランクフルト」ノ附近ニアル「ライデル」河ノ橋梁ヲ
 壞ルヲ以テ其任務トスルナルベシ蓋シ此ノ橋梁破壞ノ
 作業ハ「ライデル」河橋ノ附近ニ停止シタル歩兵枝隊ノ報
 告ト十月二日ノ早朝「フランクフルト」ノ方位ニ當テ雷

鳴ノ如キ響音ヲ聞キタルトニヨリ之ヲ證スルヲ得可
 シ

因是觀之敵ハ破壞作業ヲ實施シ終ラハ再ヒ退却行進ヲ
 企ツルカ如シ然レモ彼尙ホ「フランクフルト」及ヒ其前方
 ニ停止スルヲ見レハ未ダ破壞作業ノ實施ヲ終ヘサルモ
 ノ、如シ、敵ハ「ライデル」河ノ橋梁ヲ破壞シタルヲ以テ
 見レハ彼レハ「ライデル」河ノ左岸ヲ退却シ其左岸ノ退却
 ハ西南或ハ南方ニ於テスルナラン—A少將ノ麾下ニ在
 ル兵力ハ歩兵十大隊、騎兵三中隊、及ヒ砲兵二中隊ナリ而
 ノ報告ニヨレハ敵ノ兵力ハ歩兵六大隊餘、砲兵一中隊及
 ヒ騎兵若干ナリ東軍部隊ノ兵力殆ント西軍部隊ニ二倍

セリ此兵力ヲ以テスルモハ管ニ「フランクフルト」ヲ恢復
 スルノミナラス尙ホ東軍ヲ攻撃シテ以テ之ヲ殲滅セシ
 ムルヲ決シテ難キニアラサル可シ且東軍部隊ノ前進ハ
 一般ノ戦況ニ依レバ自ラ援助セラル可シ即チ西方「伯林」
 ノ方ハ「クベニツク」ニ在ル軍隊ニヨリ充分ニ警戒セラレ
 敢テ顧慮ヲ要スルヲナク「フランクフルト」ニ向ヒ左方ニ
 旋回シ「伯林」府ヲ背後ニシテ停止スルヲ得且ツ之ヲ以テ
 敵ノ背後ノ連絡ヲ脅迫シ得可シ此ノ狀況ヲ顧ミ且ツ
 兵力ノ多キヲ顧ミA少將ハ其首力ヲ以テ「ボトゼン」「ロ
 ゼン」「ガルテン」及「マルケンドルフ」ニ向テ直進シ敵若シク
 リストウニ停止スル時ハ左方ニ旋回シテ之ヲ「ブーデル」

河ニ投擲シ若シ亦タ退却スル時ハ勉メテ捷路ヲ進ミ之
 レト戦ヲ挑ミ我カ衆多ナル兵力ヲ以テ之ヲ破ラントヲ
 企テタリ是故ニ騎兵ハ之ヲ獨立セシメテ「マルケンドル
 フ」ノ方ニ派遣シ敵ノ背後ニ動作セシムルヲ緊要ナリト
 セリ

A少將此ノ決定ヲ爲シタルモハ集合シタル各司令官ニ
 前進ノ爲メ口演命令ヲ與フヘシ蓋シ此ノ口演命令ハ時
 間不足スルヲ以テ前哨命令ヲ與フル時ノ如ク副官ニ筆
 記セシムルヲ能ハス故ニA少將ハ再度必要ナル點ヲ口
 演シ之レカ誤解ヲ防カサルヘカラス此命令ハ最初ニ戦
 況ヲ細密ニ陳述シ「ウユスト」「ク」「チルスドルフ」ニ在ル軍

隊ニ屬セスシテ今「シエンフリース」ニ到着シタル軍隊ニ
 戦況ヲ知ラシメサル可ラス故ニ命令ハ次ノ如ク述ヘサ
 ルヲ得ス

約歩兵六大隊、砲兵一中隊及ヒ若干騎兵ノ兵力ヲ有ス
 ル敵ノ別働隊ハ昨日西南方ヨリ「フランクフルト」ニ前
 進シタリ、向キニ「ケツペニツク」ニ在ル我第三軍團ヨリ
 「フランクフルト」ニ残置シタル歩兵三大隊騎兵一中隊
 及ヒ砲兵一中隊ヲ以テ組織シタル枝隊ハ此別働隊ニ
 遭遇シ遂ニ「ウユスト、グーテルスドルフ」ニ避ケサルヘ
 カラサルニ至レリ其後敵ノ別働隊ハ「フランクフルト」
 ヲ占領シ「ゾーデル」河ノ橋梁ヲ破壊シ其前哨ヲ「クリス

トウ」ノ北方ニ配置シ「ボーゼン」ニ於テハ敵ノ騎兵存在
 スルトノ報告アリ余ハ再ヒ「フランクフルト」ヲ奪取シ
 而シテ大ニ敵ヲ撃破セントス故ニ予ハ首力ヲ以テ直
 ニ「ボーゼン」ヲ經「ローゼンガルテン」ニ進ミ敵若シ「フラ
 ンクフルト」ニ停止スル時ハ「フランクフルト」ニ向ツテ左
 ニ旋回シ之ヲ「ゾーデル」河ニ投擲シ若シ亦タ「マルケン
 ドルフ」ニ退却セハ余ハ捷路ヲ撰ミ之ニ追及シテ直ニ
 之ヲ攻撃セントス又大佐ハ重歩兵第十二聯隊及ヒ龍
 騎兵一小隊ヲ率ヒテ「ウユスト、グーテルスドルフ」ニ在
 テ準備ヲ爲シ「ボーゼン」ニ在テ行進スル予カ指揮スル
 本隊ノ後尾「ウルコース」ノ牧場ト齊等ノ所ニ至ルニ及

ンテ敵若シ「クリストウ」ヨリ退却スル時ハ直チニ之ヲ
追撃シ若シ亦タ「クリストウ」ニ停止スル時ハ之ニ向テ
前進スヘシ

「ボーゼン」ヲ經テ「ローゼンガルテン」ニ直進スヘキ軍隊
ハ即チ余ノ旅團ノ歩兵二聯隊、鎗騎兵第十二中隊ノ三
小隊、砲兵二中隊、同第十八中隊ナリ

之カ爲メ第三軍團ニ屬スル部隊ハ「ウユストクローチル
スドルフ」ノ西方ヨテ「シエンフリース」ヨリ「ボーゼン」ニ
通スル道路ニ接近シ來ルヘシ「ボーゼン」ニ行進スル縱
隊ノ軍隊區分ハ次ノ如シ

獨立騎兵 A 大尉之ヲ指揮シ鎗騎兵第一中隊第

二中隊ヨリ成ル―大尉君貴官ハ「ボーゼン」ニ直進シ
敵若シ該村ヲ占領スル時ハ西方ヲ迂回シ管ニ「ロー
ゼンガルテン」ノミナラス「マルケメドルフ」ヲモ併テ
占領スルコトヲ勉メ以テ敵ノ側面及ヒ背後ニ動作ス
ヘシ

前衛ハB大佐ノ指揮ニ屬シ輕歩兵第三十四聯隊、龍
騎兵第十二聯隊第一中隊ノ半中隊及ヒ砲兵二中隊
ヨリ成リ獨立騎兵ニ跟随シテ「ボーモン」ニ行進スヘ
シ―B大佐君余ハ貴官ニ砲兵二中隊ヲ授クルヲ以
テ貴官ハ猛烈ニ敵ヲ攻撃スヘシ「ボーゼン」ニ向フ行
進ハ敵ニ對シ側面行進ナルヲ以テ貴官ハ其左側面

ヲ警戒シ且ツ敵ノ爲メニ注目セラルヲナカレ余ハ
「フランクフルト」ニ對シ旋回ヲ命スルヲアラシ、貴官
ハ「ボーゼン」ヲ經テ「ローゼンガルテン」ニ向ヒ行進ヲ
續行ス可シ

本隊ハC大佐ノ指揮ニ屬シ步兵第四十二聯隊、龍騎
兵第十二聯隊第一小隊ヨリ成リ五百歩ノ距離ヲ以
テ前衛ノ後尾ニ跟隨シ敵若シ停止スル時ハ側面警
戒ノ爲メ顧慮スル所ナカルヘカラス
大行李ハ「シエンフリース」ニ停止スヘシ、
余ハ前衛本隊ト共ニ行進スルナラン、
獨立騎兵及ヒ前衛ハ直チニ出發セヨ、

此ノ命令ノ傳達長時間ヲ要スルカ如シト雖モ命令ヲ與
フル爲メ五分間ヲ費シ若シ質問アラハ之ニ答辨スル爲
メ、亦五分時ヲ要シ總テ十分間ヲ要スレハ充分ナルヘシ
但シA少將此命令ヲ考フル爲メ若干分時ヲ要セシナラ
ン
故ニ「ボーゼン」ニ向フ行軍ハ恐クハ十時三十分ニ於テ之
ヲ起スヲ得ヘシ

第二十問題

十月二日午后第一時ニ於ケル西軍枝隊ノ戰況
「ライデル」河ニ架シタル「フランクフルト」ノ木製橋梁ハ十
月二日ノ朝マテニ全ク之ヲ破壊シ又同時ニ工兵中隊ハ

「フランクフルト」ノ南方ニ在ル鐵道橋ヲ破壊シ長時間使用スル能ハサラシメタリ次ニ應用シ得ル作業手ヲ「フランクフルト」ノ西方ニ在ル停車場附近ニ集合シ「伯林」及ヒ「キュストリン」ニ通スル鐵道線路ヲ破壊セシメタリ此ノ破壊作業モ亦タ正午第十二時頃ニ終リ第十二時三十分頃西軍枝隊司令官ニ宛タル騎兵ヨリノ報アリ曰ク敵ハ「ウユスト、クイテルスドルフ」ニ停止シタリト雖モ更ニ各兵種混合ノ敵ハ北方ヨリ來リテ「シエンフリート」ニ集合シタリト、西軍枝隊ハ此ノ報告ニ接スルヤ直チニ「ホトヘン」ワルド「ノ方ニ退却シタリ退却中「ローゼンガルテン」ニ於テ敵ノ鎗騎兵數中隊ノ攻撃ヲ受ケタリト雖モ遂ニ大

ナル損害ヲ與ヘテ之ヲ擊退シ午後一時頃枝隊ノ後衛獵兵一大隊輕騎兵第二中隊ハ「ホーヘンワルド」ノ北方ニ到着シ本隊(輕歩兵聯隊)第四大隊ヲ缺ク砲兵中隊ハ「ホトヘン」ワルドヲ通過シ「ミュルローゼ」ニ向テ續行セリ輕歩兵聯隊ノ第四大隊及ヒ工兵中隊ハ「フランクフルト」ヨリ「ホーヘンワルド」ニ退却シ輕騎兵第一中隊ハ「ヤコーブスドルフ」ヲ發シテ枝隊ノ許ニ到着シ且報告シテ曰ク「ペーテルスハーゲン」ヨリ「ヤコーブスドルフ」ニ亘ル線ノ西方一獨里ノ地内ニハ午前第十時頃ニ至ルモ敵兵ヲ見ス大行李ハ「ミュルローゼ」ノ南方出口迄送り販シタリト敵ハ再ヒ「フランクフルト」ヲ占領シタリト雖モ該市外ニ

ハ只騎兵斥候ヲ派遣スルノミ

問題

枝隊司令官爾後ノ目的及ヒ部署

説明及ヒ答解

西軍枝隊ハ殆ント其任務ヲ盡シタリト雖モ只「フランクフルト」ノ停車場ニ於テ企テタル若干ノ作業ハ未タ其終ヲ告ケサリシ何トナレハ大約一時間半早ク退却行軍ヲ始メサルヲ得サルニ至リタレハナリ然レモ枝隊ハ今ヤ優勢ナル敵ヲ遠ク避ケ彼ト戦闘ヲ交ヘサルヲ良トスト雖モ若シ狀況變シテ枝隊ニ便ヲ與フルニ至ルヤ直チニ再ヒ前進スヘキ位地ニ立テルナリ然レモ亦タ十月二日

ハ前日來非常ナル勞働ヲ爲シテ疲勞シタルト敵ハ「フランクフルト」以外ニハ只騎兵斥候ヲ以テ追躡シタルノミナルトヲ考フル時ハ枝隊ハ「ミュルローゼ」運河ナル堅固ノ地區后ニ在ル「ミュルローゼ」ニ停止スルヲ良トス(第五掌圖參觀)而シテ枝隊ハ「ミュルローゼ」ニ宿泊シ其警戒ハ地形及ヒ戦況ニヨリ微弱ナル前哨ヲ配置スルヲ以テ足レリトス何トナレハ敵ノ午後「フランクフルト」ヲ發シテ前進スルモノトハ思ハレサレハナリ其然ル所以ノモノハ十月一日迄「フランクフルト」ヲ占領シタル枝隊ハ當日ノ戦闘ニ續ヒテ尙ホ攻戰ノ計畫ヲ行フニ力足ラサレハナリ其他「シエンフリース」ヲ經テ前進スル「キユストリン」ニ

在ル攻城軍ヨリ派遣シタル枝隊ト雖モ更ニ前進ノ計畫ヲ爲ス甚タ難カルヘシ是レ十月二日ニ於テ又更ニ大ナル行程ノ行軍ヲ爲サハルヘカラサレハナリ又「ヤコープスドルフ」ニ分遣シタル輕騎兵中隊ノ報告ニ由レハ「伯林」ノ方ニ對シテハ當時敢テ恐ルヘキモノナシ、枝隊司令官ハ此ノ考察ヲ以テ軍隊ヲ遠ク「ミュルローゼ」ニ退カシメタリ而シテ宿泊及ヒ警戒ニ關スル命令ハ途上ニテ與フルカ或ハ「ホイヘンワルデ」ニ於テ休止ヲ爲シ此間ニ設營隊ヲ派遣シ且ツ命令ヲ與フルモノトス命令ハ左ノ如シ、

「ホイヘンワルデ」ニ於テ千八百、
、年十月二

日午後一時十分

枝隊命令

- 一、敵ハ再ヒ「フランクフルト」ヲ占領シタリト雖モ該市以外ハ只騎兵斥候ヲ派遣スルノミ
- 二、枝隊ハ「ミュルローゼ」ニ宿營ス輕步兵聯隊長ハ舍營司令官トナリ細密ナル部署ヲ爲ス可シ
- 三、輕步兵聯隊ノ一中隊ハ輕騎兵將校一名、兵卒三十名ト共ニ前哨ニ任ス其本隊ハ「ミュルローゼ」運河上ニ架シタル本道ノ橋梁附近ニ置キ其步哨線ハ前方ニ在ル森林ノ北端ニ配置ス可シ
- 四、大行李ハ「ミュルローゼ」ノ南方出口ニ於テ停止ス

諸軍隊ハ之ヨリ給與ヲ受クヘシ

枝隊司令官又少將

何レノ中隊ヲ以テ前哨ニ任スヘキヤヲ規定スルハ輕歩兵聯隊長ノ職務トス、是レ枝隊司令官ハ中隊ノ孰レカ最も疲勞少クシテ前哨勤務ニ適スルヤ知ルヲ得サレハナリ聯隊副官ト雖モ命令ヲ附與スル時ニ當リ豫メ聯隊長ト商議スル所ナクンハ中隊ノ孰ヲ以テ前哨ニ任スルヤ之ヲ現定ス可ラス―前哨勤務ニ任スヘキ輕騎兵ハ何ノ騎兵中隊ヨリ之ヲ派遣スルヤモ亦之ヲ示サス何トナレハ前哨ノ騎兵枝隊ハ故參騎兵中隊長ニ委任シ此中隊長ハ疲勞セサル馬匹ヲ兩中隊ヨリ各十五頭宛ヲ取リテ

騎兵枝隊ヲ編成スヘキ者ナレハナリ―枝隊司令官カミユルローゼニ宿泊スルカ如キハ之レ自然ノ理ニシテ敢テ之ニ關シテ喋々スルヲ要セス―明朝ノ動作即チ行進ヲ起スヘキヤ若シ行進ヲ起スルハ何時ニ出發スルヤニ就テハ之ヲ示サス何トナレハ枝隊司令官ハ直チニ西軍ノ高等司令部ニ其結果ヲ電報シ其命令ニ從ツテ更ニ之ヲ決定セサルヘカラサレハナリ、又軍隊ノ爲メニ命令受領者ヲ出ススヘキヲ示サル、所以ハ僅少ノ時間ニ於テ命令受領者ヲ召集シ得ルヲ以テナリ、其他軍隊ヲ警急集合所ニ集合シテ行進ノ準備ヲ爲サシメシカ爲メニハ只非常號音ヲ吹奏スレハ足レリ内衛兵及ヒ外衛兵ヲ以

諸軍隊ハ之ヨリ給與ヲ受クヘシ

枝隊司令官又少將

何レノ中隊ヲ以テ前哨ニ任スヘキヤヲ規定スルハ輕歩兵聯隊長ノ職務トス、是レ枝隊司令官ハ中隊ノ孰レカ最も疲勞少クシテ前哨勤務ニ適スルヤ知ルヲ得サレハナリ聯隊副官ト雖モ命令ヲ附與スル時ニ當リ豫メ聯隊長ト商議スル所ナクンハ中隊ノ孰ヲ以テ前哨ニ任スルヤ之ヲ規定ス可ラス—前哨勤務ニ任スヘキ輕騎兵ハ何ノ騎兵中隊ヨリ之ヲ派遣スルヤモ亦之ヲ示サス何トナレハ前哨ノ騎兵枝隊ハ故參騎兵中隊長ニ委任シ此中隊長ハ疲勞セサル馬匹ヲ兩中隊ヨリ各十五頭宛ヲ取リテ

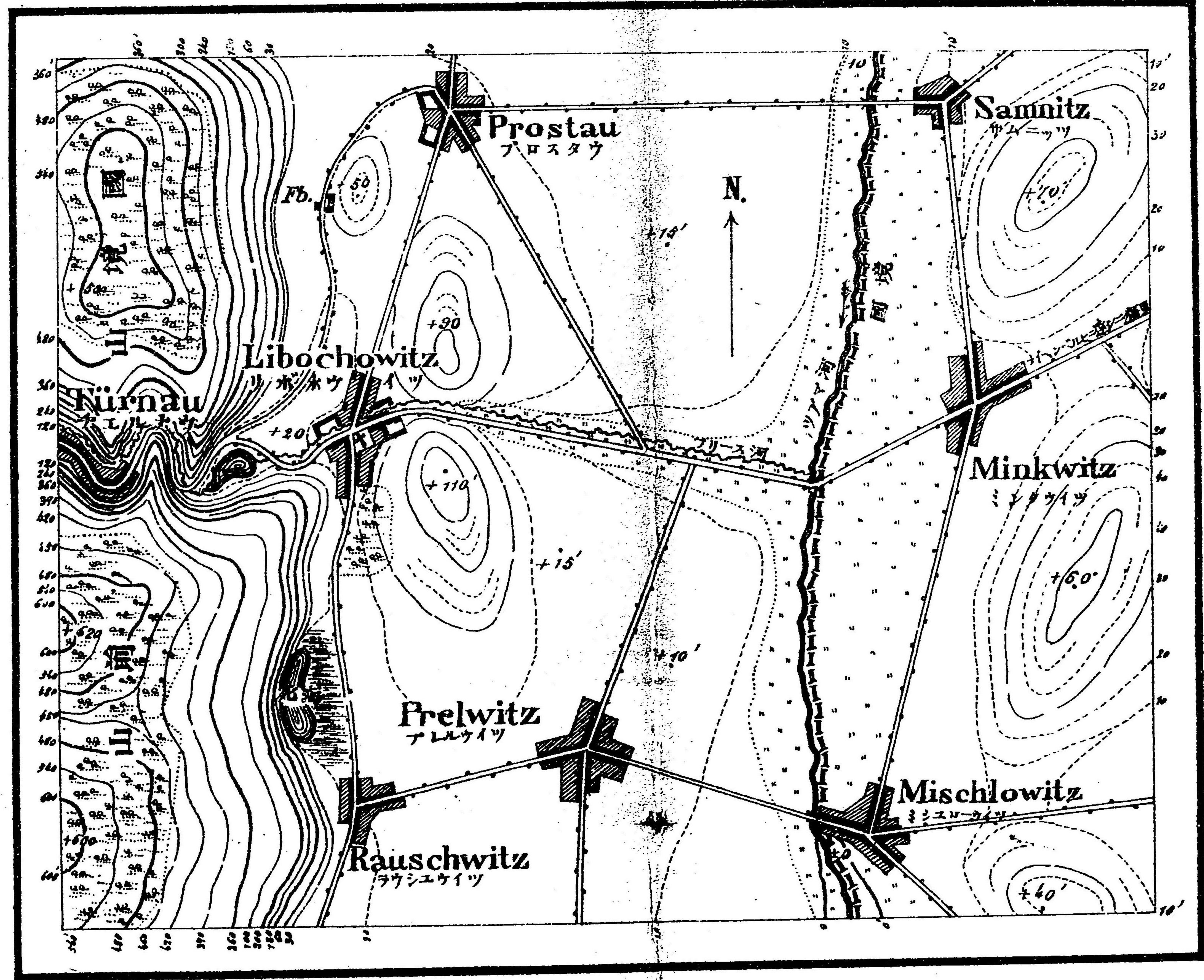
騎兵枝隊ヲ編成スヘキ者ナレハナリ—枝隊司令官カミユルローゼニ宿泊スルカ如キハ之レ自然ノ理ニシテ敢テ之ニ關シテ喋々スルヲ要セス—明朝ノ動作即チ行進ヲ起スヘキヤ若シ行進ヲ起スルハ何時ニ出發スルヤニ就テハ之ヲ示サス何トナレハ枝隊司令官ハ直チニ西軍ノ高等司令部ニ其結果ヲ電報シ其命令ニ從ツテ更ニ之ヲ決定セサルヘカラサレハナリ、又軍隊ノ爲メニ命令受領者ヲ出ススヘキヲ示サル、所以ハ僅少ノ時間ニ於テ命令受領者ヲ召集シ得ルヲ以テナリ、其他軍隊ヲ警急集合所ニ集合シテ行進ノ準備ヲ爲サシメンカ爲メニハ只非常號音ヲ吹奏スレハ足レリ内衛兵及ヒ外衛兵ヲ以

テ舍營ヲ警戒スルノ部署ヲ定ムルハ舍營司令官ノ職務
 タルヲハ既ニ之ヲ陳述シタリ
 占ムヘキ前哨陣地ニ關シテ諸種ノ意見アリト雖モ地形
 及ヒ戰況ノ性質ヲ顧ミル時ハ最初ヨリ夜間位置ヲ取ル
 一即チ歩兵前哨ヲ配置シ騎兵ハ只斥候勤務及ヒ傳令者
 トシテ使役スルヲ利アルモノ、如シ前哨配置ニ關シテ
 ハ甲中隊長ハ只獨立下士哨ヲ派遣スルヲ以テ足レリト
 セン又乙中隊長ハ小哨及ヒ獨立下士哨ヲ派遣セン又丙
 中隊長ハ下士哨及ヒ查哨ヲ有スル小哨ヲ配備セン、是等
 ハ各見ル所ニヨツテ異ルモ此ノ三個ノ場合ニ於テハ第
 五掌圖ニ於テ文字ヲ以テ示シタル點ハ即チ此等哨所ヲ

配置スヘキ位置ナラン

歩兵五大隊、騎兵二中隊、砲兵一中隊及ヒ工兵一中隊ヨリ
 成ル所ノ枝隊ハ地形ト戰況トニヨリ其警戒ヲ歩兵一中
 隊騎兵一小隊ニ委ネルヲ得ヘシ、然レモ如此キ狀況ハ
 甚タ稀ナルヘシ

戰畧術問答第二卷畢



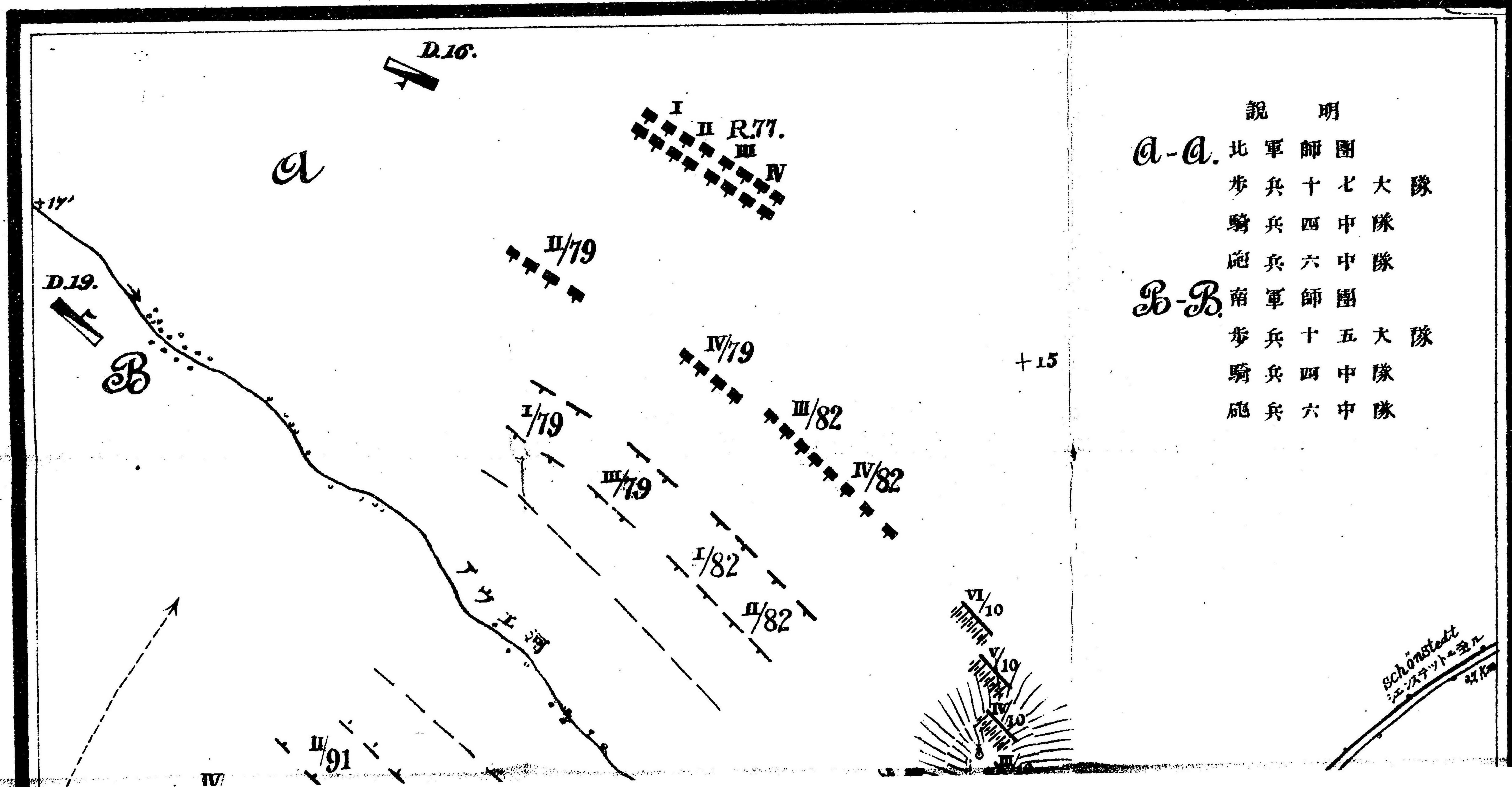
說明

國境山ノ前山ハ平均十五度ノ傾斜ヲ以テ東方ニ傾斜ス、山腹ハ灌木繁茂シ且ツ所々標石突出シ、山頂ハ綠葉樹繁茂シテ森林ヲ成シ各個ノ歩兵ト雖モ容易ニ之ヲ通行スルコト能ハス、全ク通行スベカラサル巖石ノ斜面ハチエルナウニ向ヒ本街道ニ達ス、チエルナウニ於テハ現在スル家屋ヲ悉ク利用スル時ハ約千名ノ歩兵及ヒ五百頭ノ馬匹ヲ會營セシムルヲ得ヘシ然レモ厩舎ノ數甚々僅少ナルヲ以テ多分ハ小舎ヲ以テ之ニ充テサルヘカラス

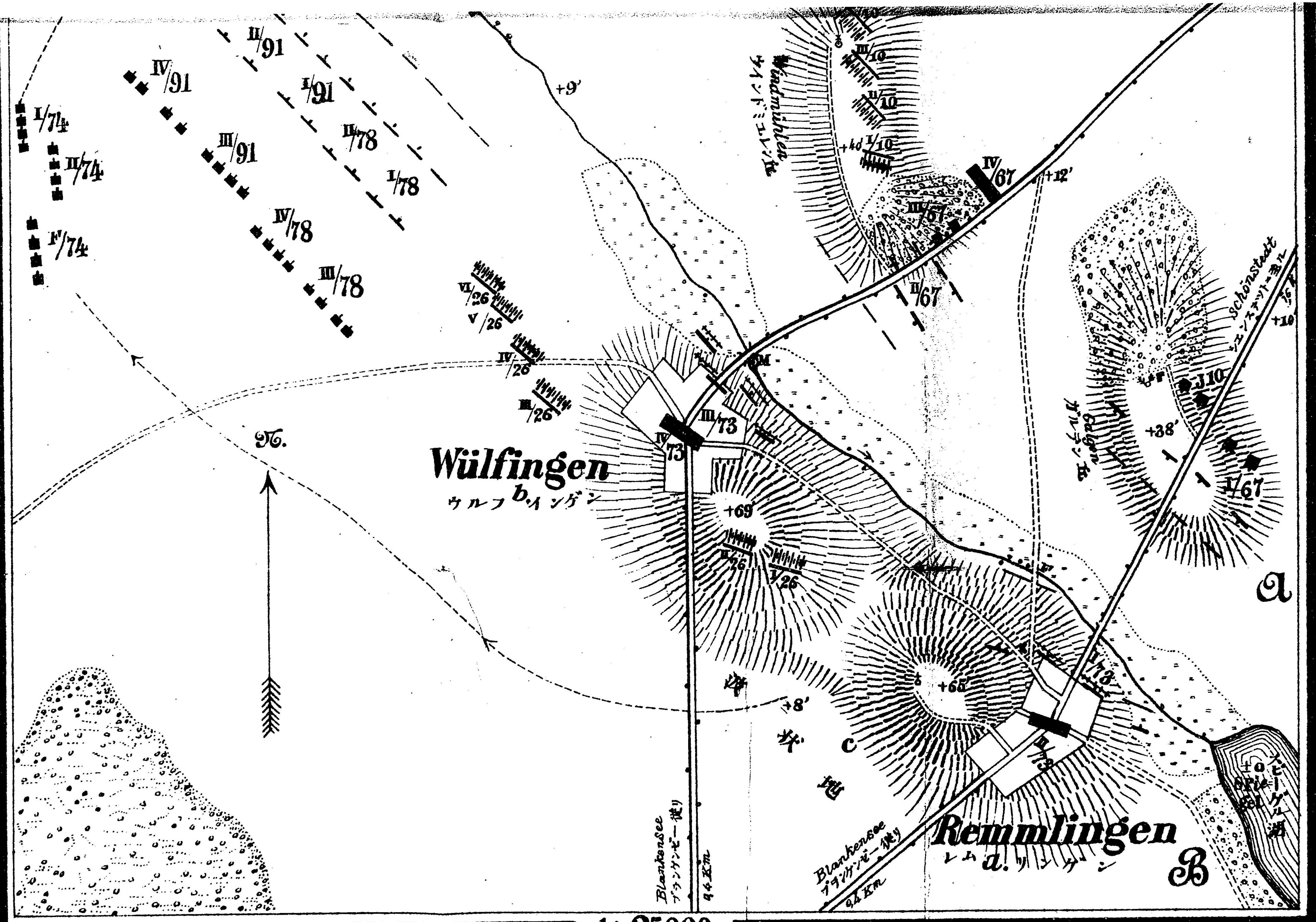
前山ノ東方ニ在ル平地ハ豊饒ナル耕地或ハ牧場ナリ、村落モ亦豊饒ニシテ會營ニ便ナリ、純中厩舎ニ乏シカラス、故ニリボホウヰツ村ノミニ於テ數千名ノ歩兵及約五百頭ノ馬匹ヲ會營セシムルヲ得ヘシ全村ノ南方ニ在ル森林ハ適度ノ高サヲ有スル山毛榉樹ヨリ成立シ且ツ樹木甚々僅少ナリ、

リプタウ河ハ軍隊ノ障礙物トナラスシテ其水清冽ナリ、ツア河幅八十歩、深サ三乃至四歩ニシテ河底ハ堅ク兩岸ハ平坦ナルヲ以テ步兵及騎兵ハ之ヲ徒涉シ、砲兵ハ橋梁ノ渡過ニ得ヘシ全所ニ現在スル橋梁ハ皆ナ水造ナリ

開 戰 ノ 河 上 ヲ 示



説 明	
a-a.	北軍師團大隊 步兵十四中隊 騎兵四六中隊 砲兵六師團
B-B.	南軍師團大隊 步兵十四中隊 騎兵四六中隊 砲兵六師團



Wülfigen
カルフ b. アンゲン

Renmlingen
レムリンゲン

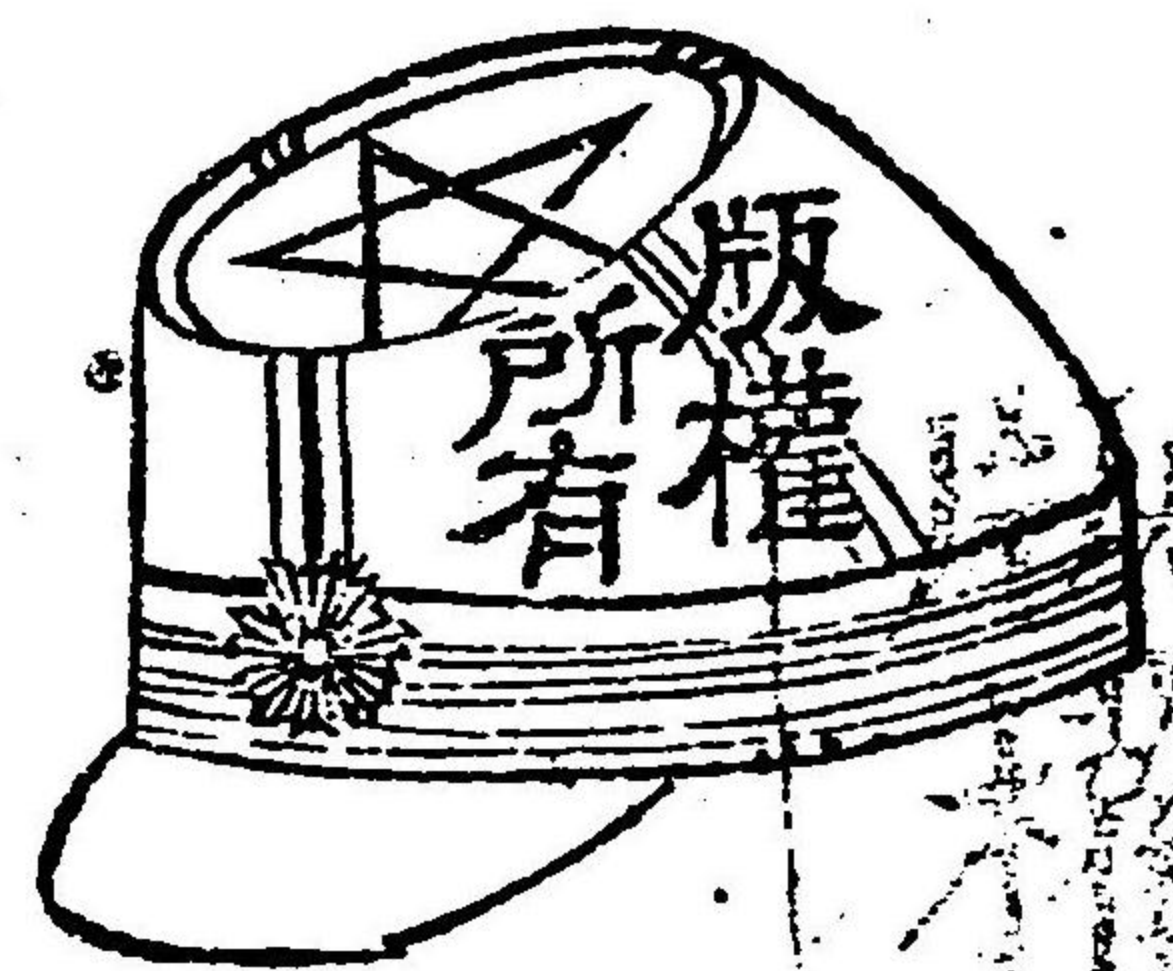
1: 25,000.



明治廿六年六月八日印刷
同 年同月十八日發行

定價金拾五錢

滋賀縣平民



印刷兼發行者

柴田源三郎

東京市麴町區麴町二丁目八番地

印刷所

兵林館

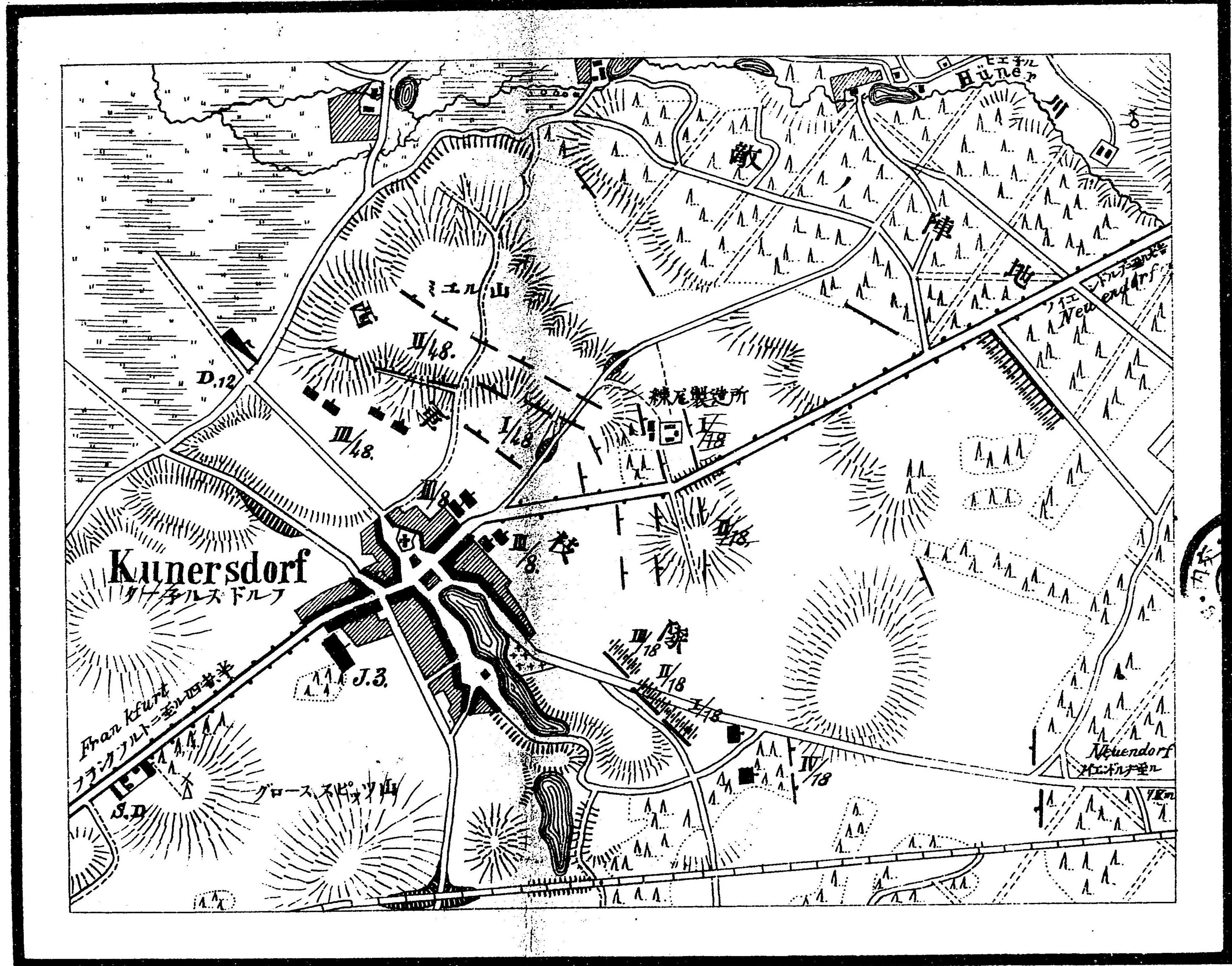
東京市麴町區麴町二丁目八番地

陸軍大學校御用印刷并發賣所

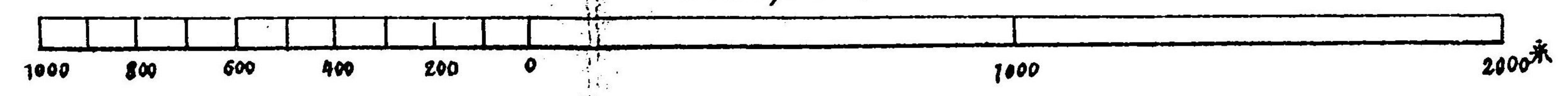
兵林館

東京市麴町區麴町二丁目八番地

戰畧術問答
第二卷 第四掌圖

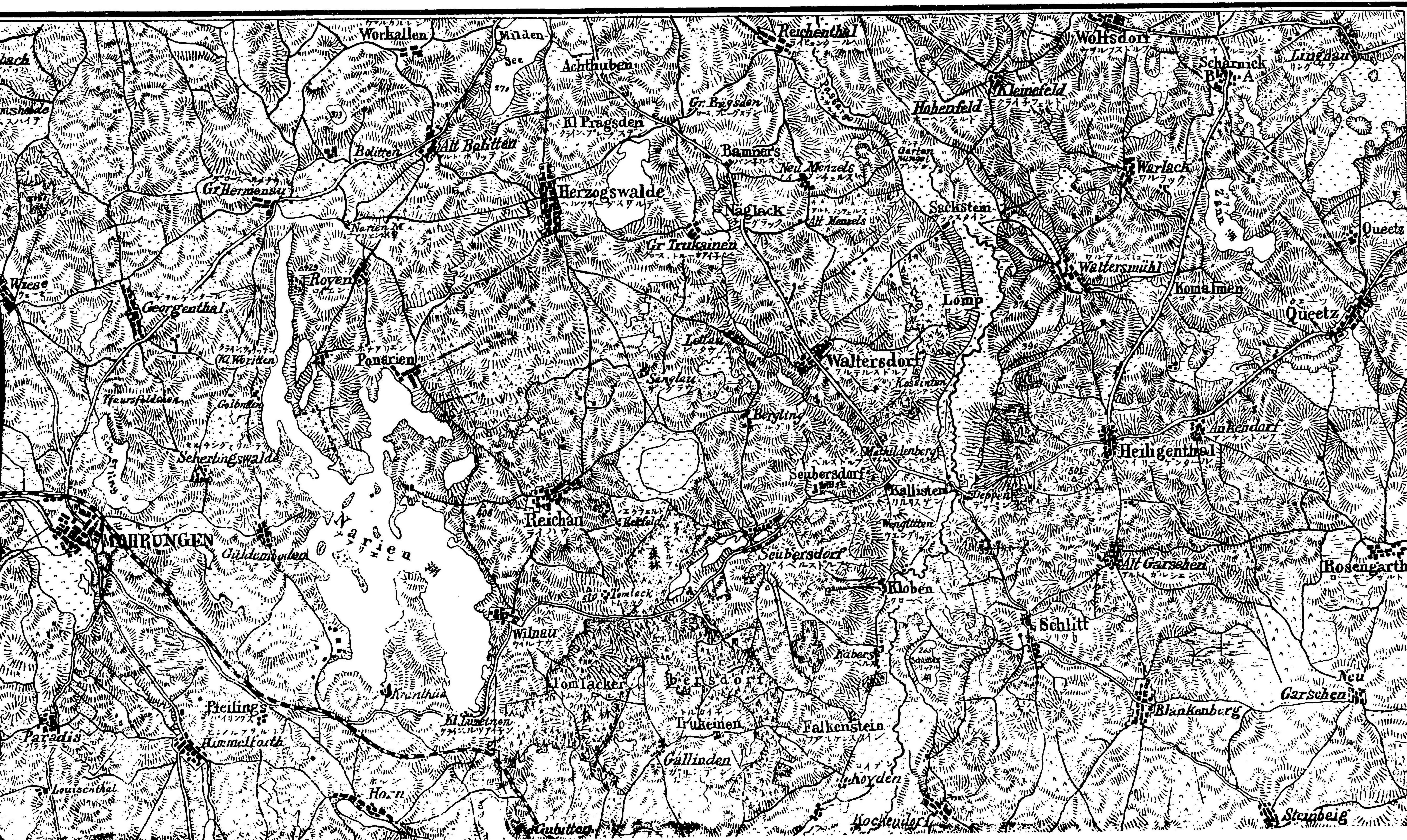


1:25,000.

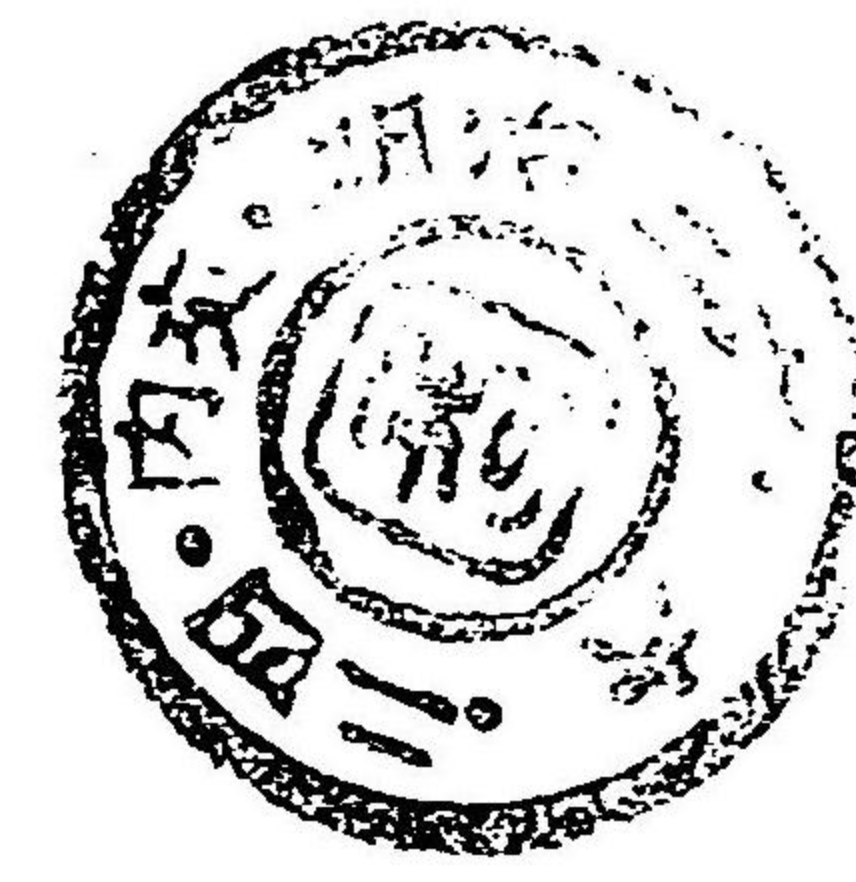
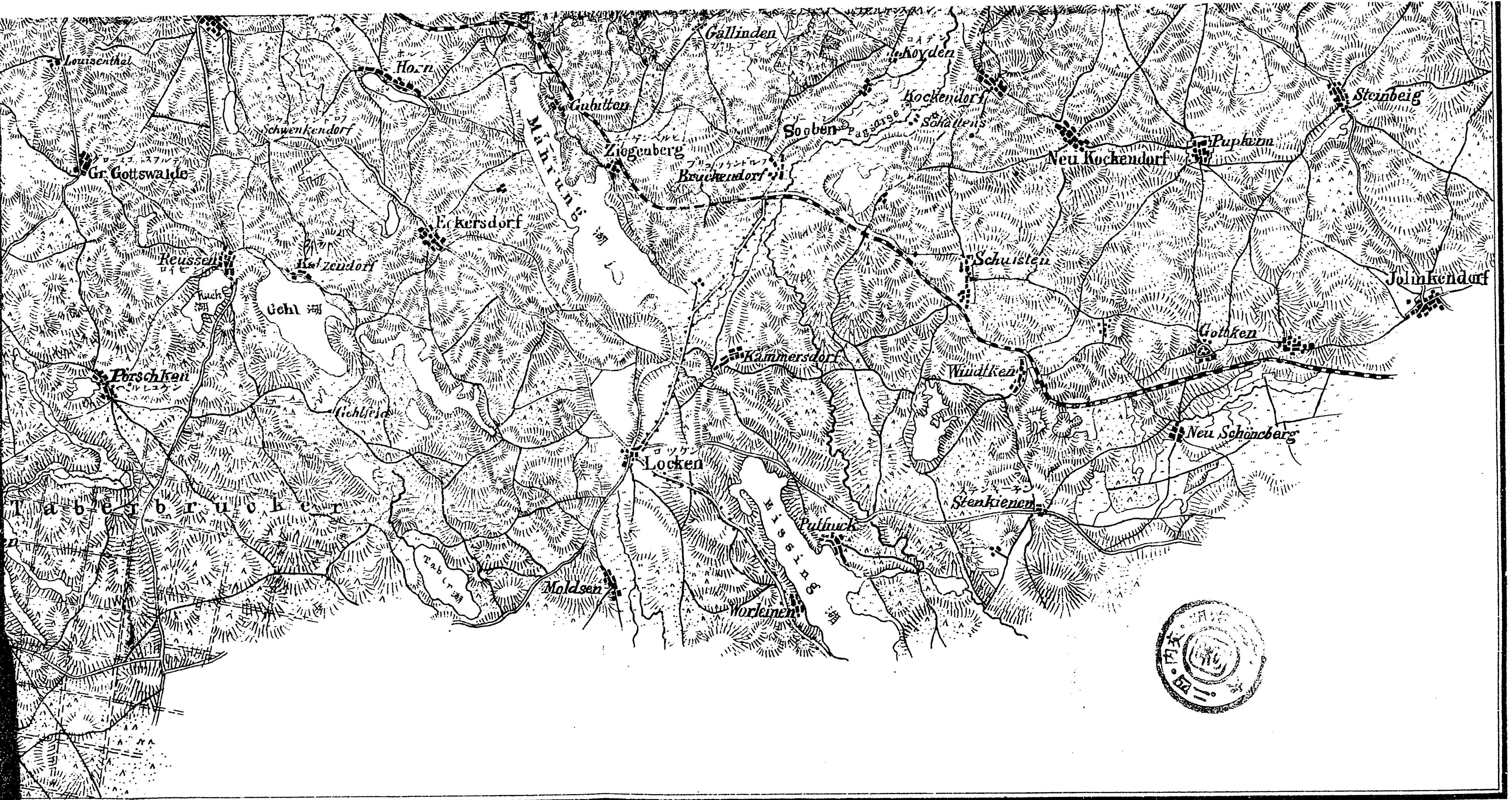


MOHRUNGEN

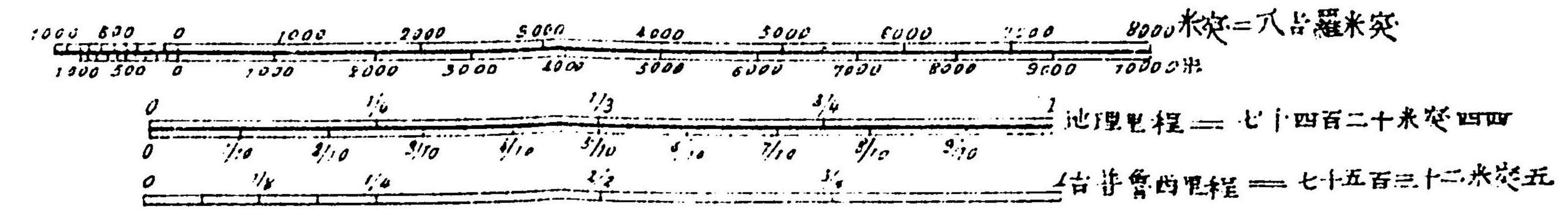
モールンゲン



戰略術問答
第二卷及第四卷附圖

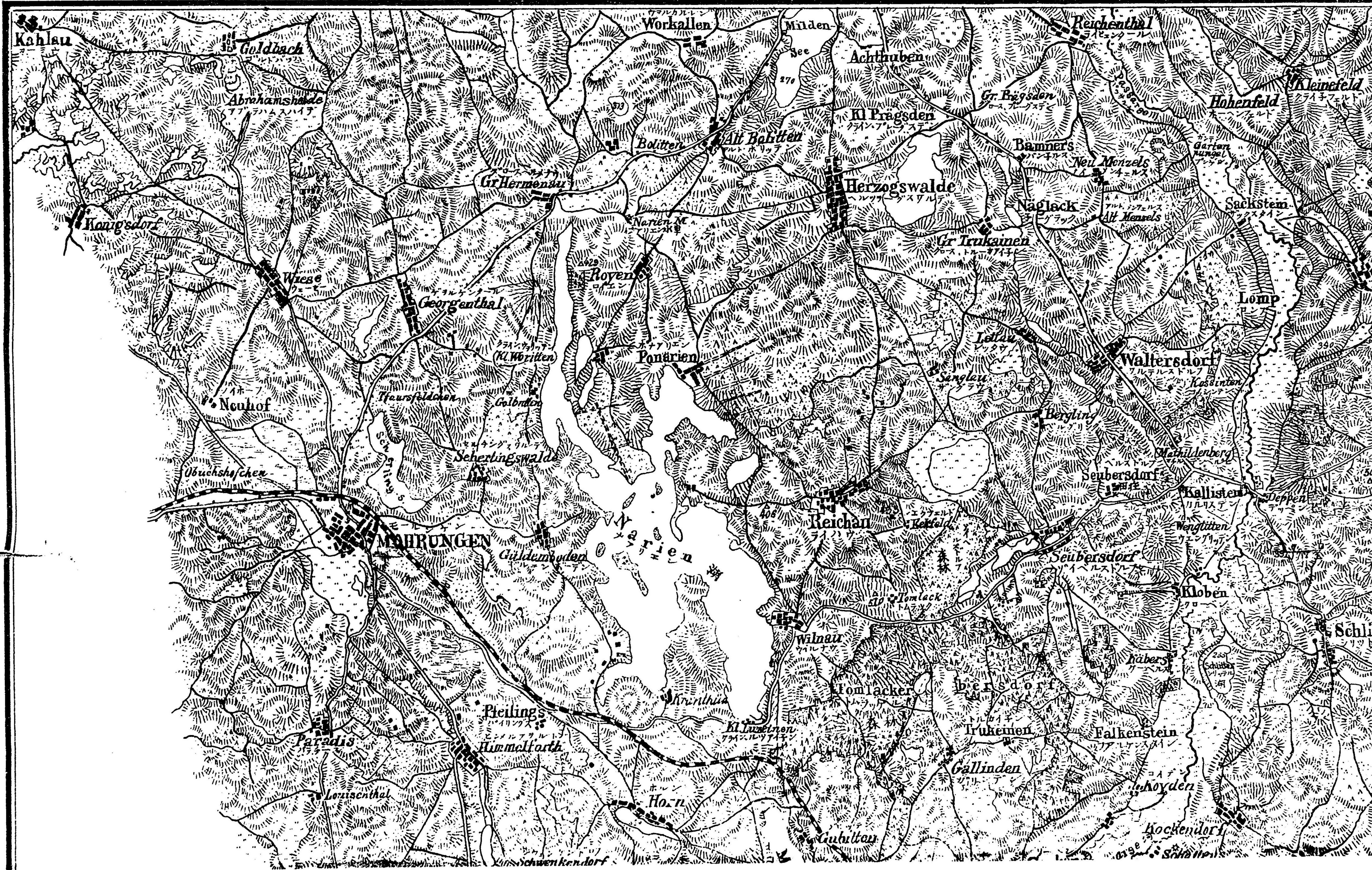


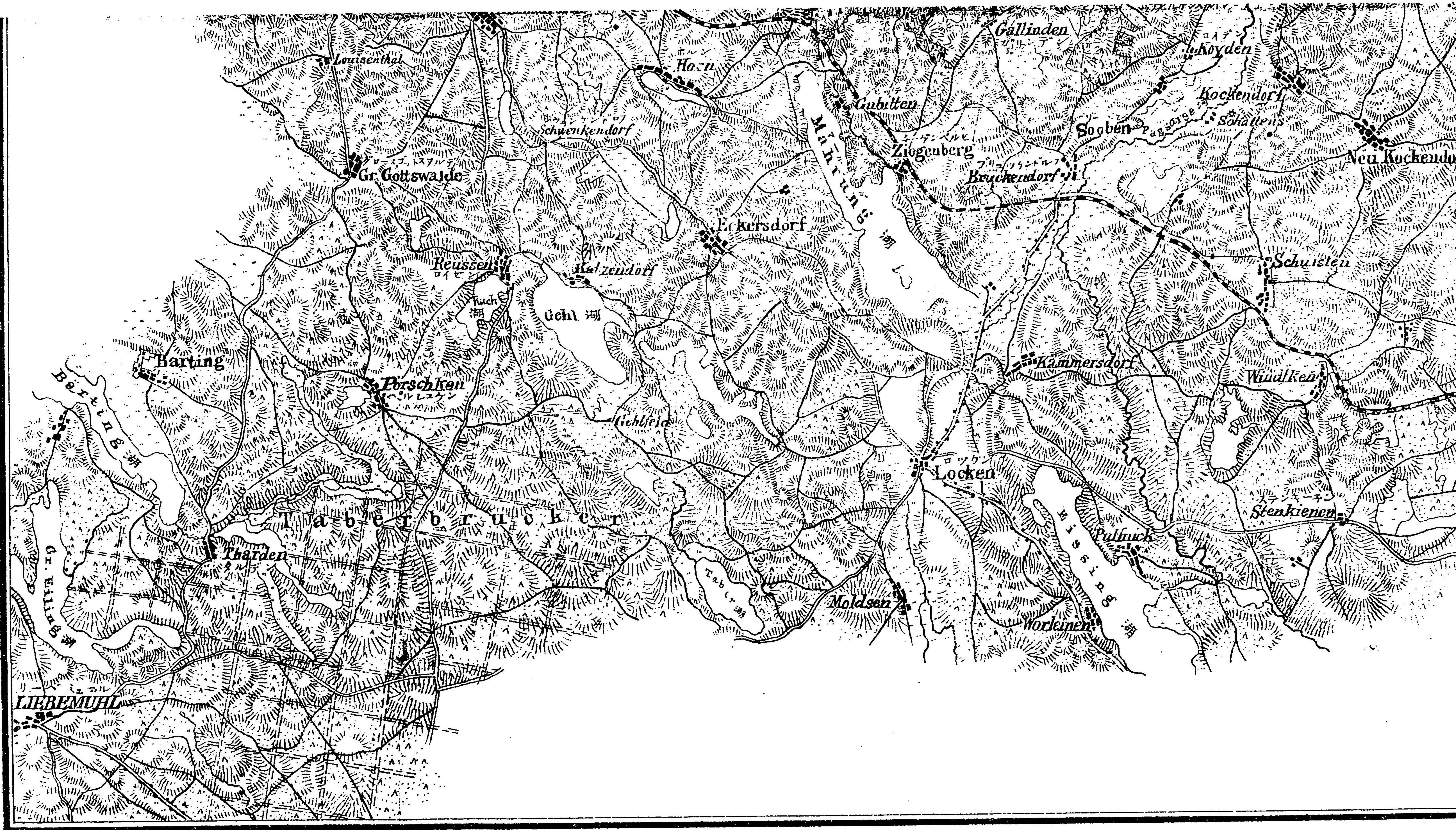
比例尺 1:100,000



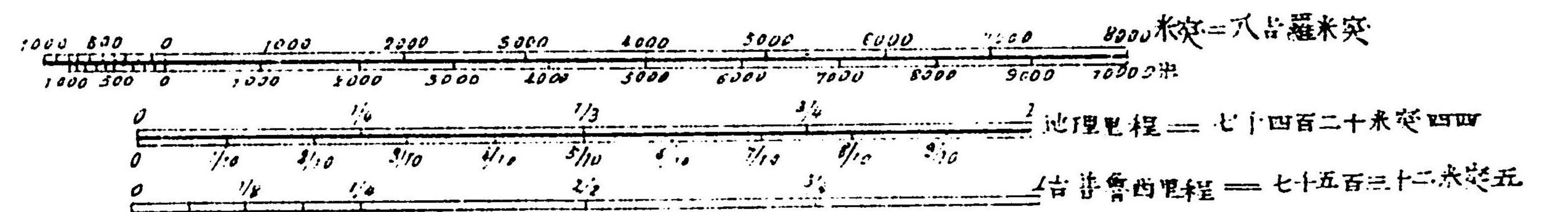
MOHRUNGEN

モールンゲン



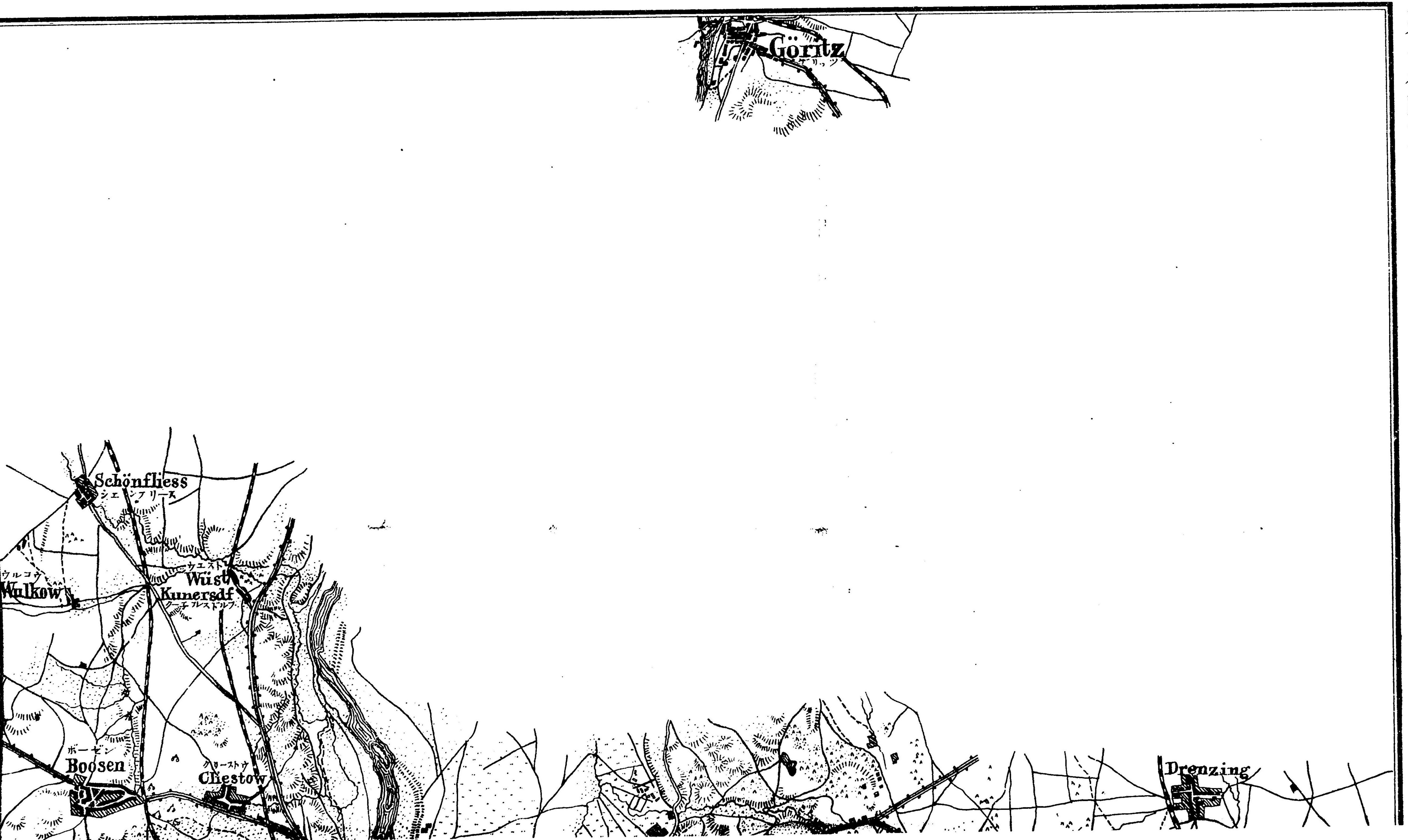


比例尺 十万分一

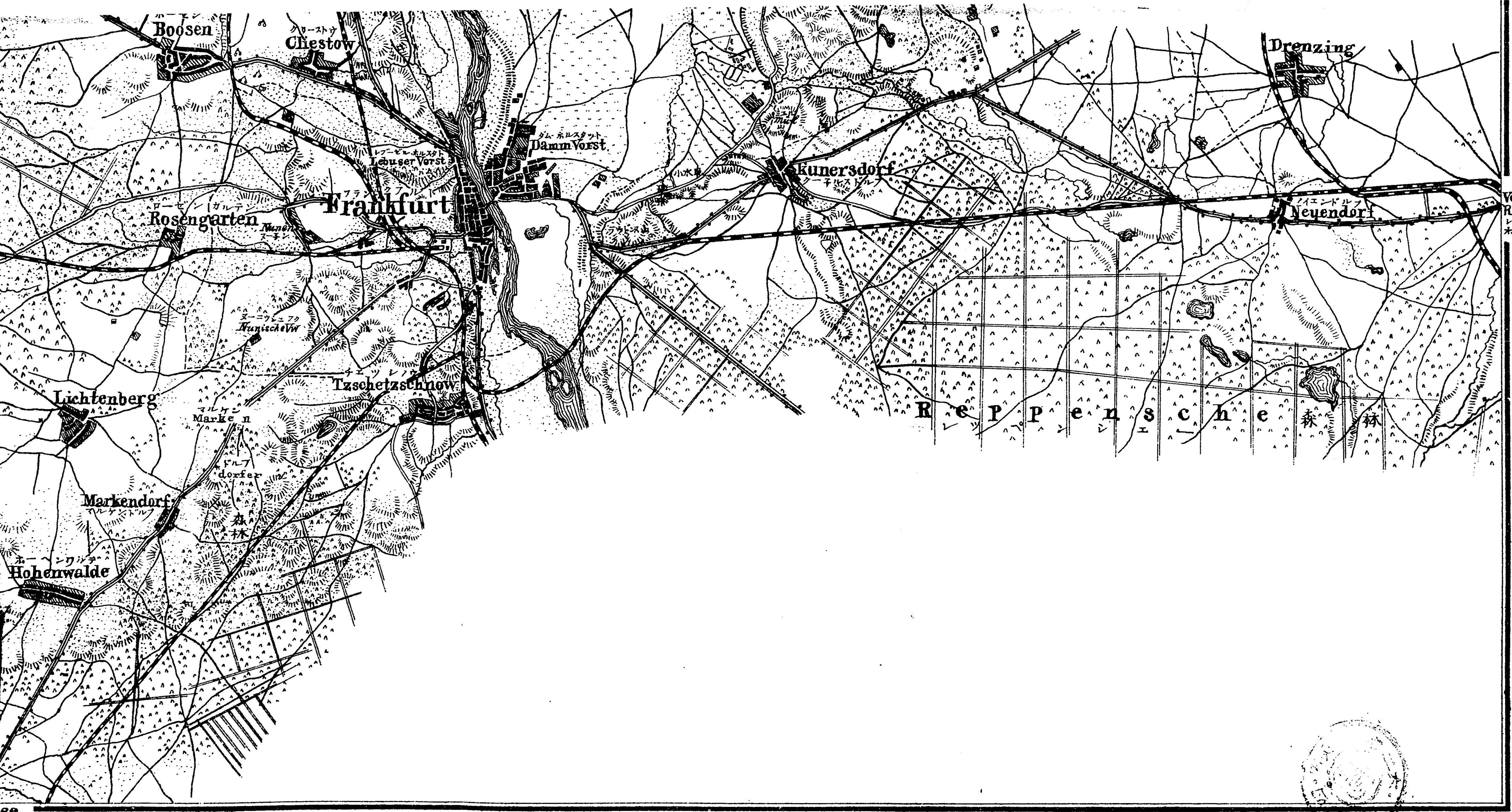


FRANKFURT

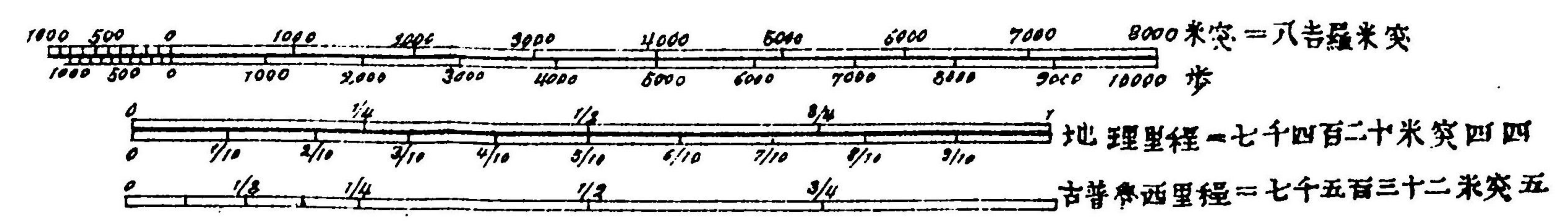
フランクフルト



戰略術問答
第二卷附圖

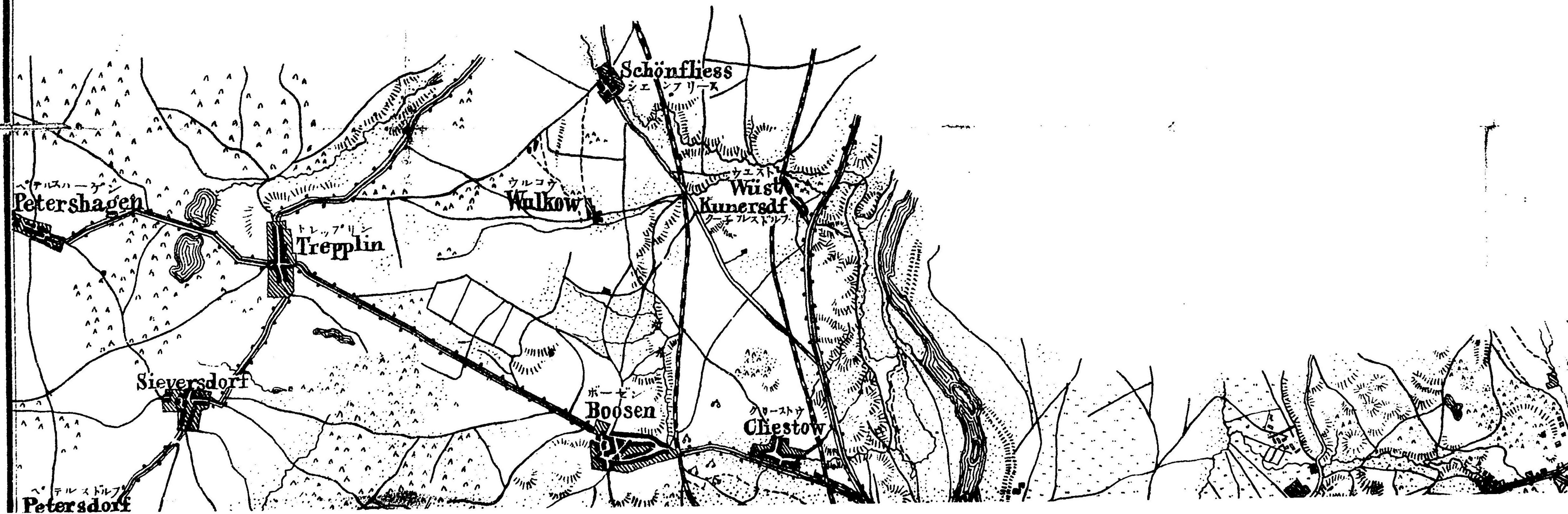


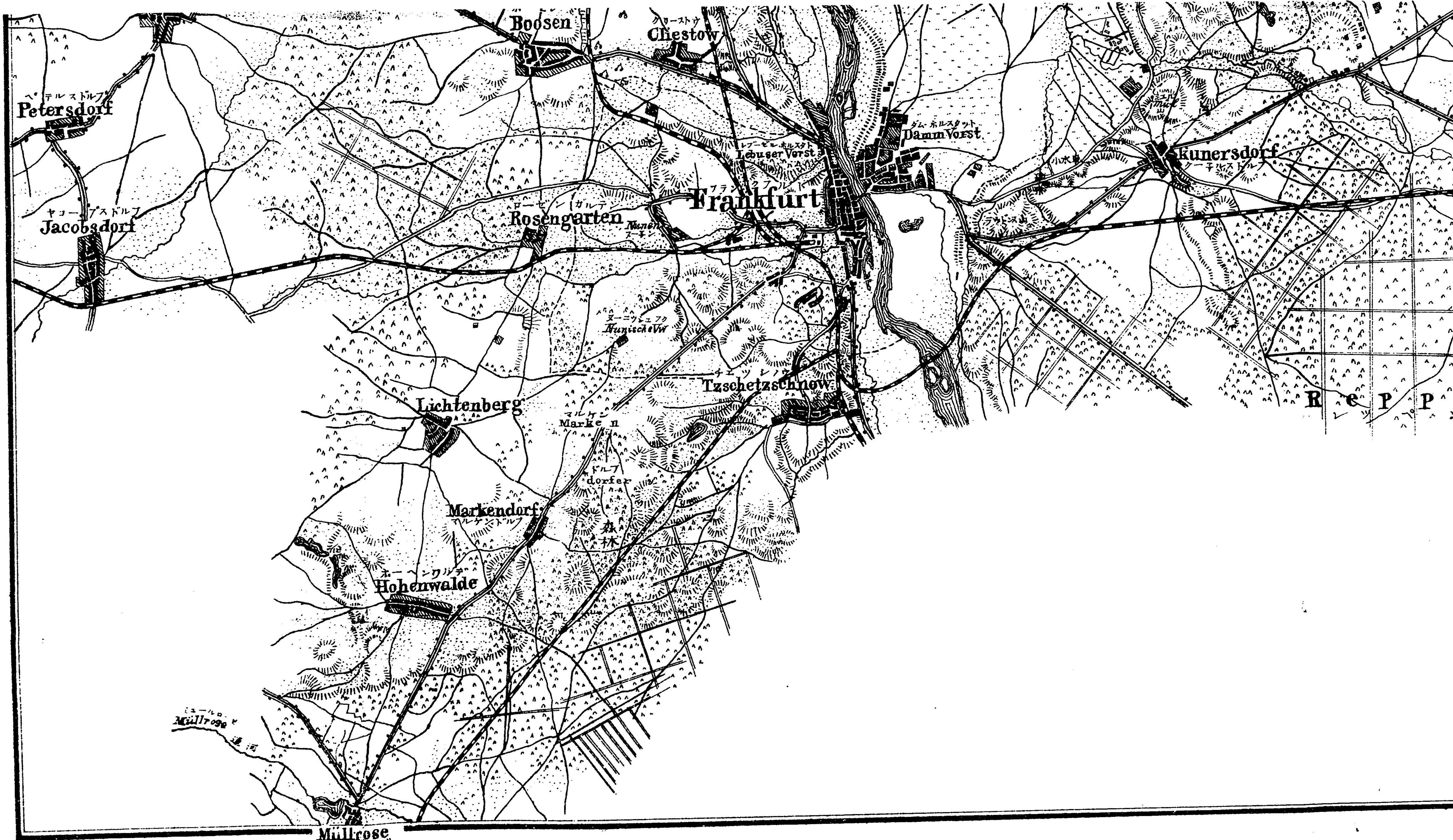
梯尺十万分一



FRANKFURT

フランクフルト





梯尺十万分一

